

2 年 次

令和3年度 年次別教育課程表

B 表

(表面)

教科	科目・標準単位数 類型	学年	市立函館高等学校 全日制課程			学科 普通科	学級数
			1年		2年		
			3年	4	2		
国語	国語総合	4	4				
	国語表現	3					
	現代文A	2					
	現代文B	4			2		2
	古典A	2					2
	古典B	4		2~3		2~3	
	○国語研究A	2		2			2
	○国語研究B	2					
	○国語教養	2					2
	○作品講読	4		4			
地理歴史	世界史A	2	2				
	世界史B	4		4		4	
	日本史A	2		2~4			
	日本史B	4		4		2~4	
	地理A	2		2			
	地理B	4		2~4		2~4	
公民	現代社会	2					2
	倫理	2					2
	政治・経済	2					2
	○社会教養	2					2
	○医療倫理	1					1
数学	数学I	3	3				
	数学II	4		4		4	
	数学III	5				6~7	
	数学A	2	2				
	数学B	2		2		2	
	数学活用	2					
	○数学研究A	4				4	
	○数学研究B	2				2	
	○大学数学入門	1					
	科学と人間生活	2				2	
理科	物理基礎	2	2				
	物理	4		3		2	
	化学基礎	2		2			
	化学	4		2		3	
	生物基礎	2	2		2		
	生物学	4		3		2	
	地学基礎	2		2			
	地学	4					
	理科課題研究	1					
	○物理研究	2				2	
保健体育	○化学研究	2				2	
	○生物研究	2				2	
	○地学研究	2				2	
	体育	7~8	2	3		2	
保 健 体 育	保健	2	1	1			
	○スポーツ専科	2				2	

B 表

表四

教育局	渡島	市立函館高等学校	全日制課程	学科	普通科
教科	学年	1年	2年	(3年
	科目・標準単位数				
	類型				
芸術	音楽 I	2	2		
	音楽 II	2		2	
	音楽 III	2			
	美術 I	2	2	2	
	美術 II	2			2
	美術 III	2			
	工芸 I	2			
	工芸 II	2			
	工芸 III	2			
	書道 I	2	2		
書道 II	2		2		
書道 III	2				
○音楽教養	2			2	
○美術教養	2			2	
○書道教養	2			2	
○音楽専科	2			2	
○美術専科	2			2	
○書道専科	2			2	
外国语	コミュニケーション英語基礎	2			
	コミュニケーション英語 I	3	3		
	コミュニケーション英語 II	4		4	
	コミュニケーション英語 III	4			4
	英語表現 I	2	2		
	英語表現 II	4		2	2
	英語会話	2			2
	○英語研究 A	2		2	
	○英語研究 B	2			2
	○実用英語	2		2	
家庭	○医療英語	1			1
	○中國語	2			2
	○ロシア語	2			2
	○ハングル	2			2
	家庭基礎	2	2		
	家庭総合	4			
	生活デザイン	4			
	社会と情報	2	2		
	情報の科学	2			
	家庭教育	子どもの発達と保育	2~6		2
情報	○情報機器概論	1			1
○	○函館学	1	1 ~ 2	1	1
各学科に共通する各教科・科目の計		29	29	26 ~ 29	
主として専門学科において選択される各教科・科目の計		1~2	0~1	0~3	
総合的な探究の時間 (総合的な探究の時間)	3~6	1	1	1	
合 計		31 ~ 32	30 ~ 31	30 ~ 31	
特別活動	ホームルーム活動	1	1	1	
備考		<ul style="list-style-type: none"> ・公立はこだて未来大学における学修を履修した者は、学校設定科目「情報機器概論」の単位を認定する。 ・2年次地理歴史の選択において、日本史A・日本史B・地理A・地理Bから必ず1科目を選択する。 ・2年次で地理Bまたは日本史Bを2単位で履修する者は、3年次においても連続して同名科目を履修しなければならない。 ・3年次で数学IIIを履修する者は、2年次で数学IIを履修した後、履修することとする。 ・2年次理科の選択において、化学基礎・地学基礎から必ず1科目を選択する。 ・2年次において芸術のIIを付した科目は、1年次で同名のIを付した科目を履修していないければ選択できない。 ・3年次公民の選択において、政治経済と倫理の両方を選択しない生徒は必ず現代社会を選択する。 ・3年次数学の選択のうち、数学研究Aと数学研究B及び数学Bを同時に履修することはできない。 ・2年次で化学を履修する者は、2年次の前期で化学基礎を履修した後、後期に化学を履修することとする。 ・2年次で物理・生物・化学を履修する者は、3年次においても連続して同名科目を履修しなければならない。 ・函館学は1年次1単位は必履修とする。これに加えて、最大2単位まで修得を認める。 ・音楽・美術・書道教養および音楽・美術・書道専科については履修条件はない。 			

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番紙型とする。

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任							
国語	現代文B	2	2年次	齊藤裕子 坂井淳							
使用教科書	精選 現代文B 東京書籍		使用副教材	大学入学共通テストへのアプローチ 実用的な文章と記述式問題 (いいいすな書店) 改訂版 評論速読トレーニング1000 (教研出版) 新版五訂新訂総合国語便覧 (第一学習社)							
科目の目標				道徳教育のねらい							
近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって国語力の向上を図り、人生を豊かにする態度を育てる。				人間と人間との関係の中で、互いの立場や考え方を尊重し合えるような、道徳的心情や道徳的判断力を養う。							
市函DP(本校で身に付けさせたい10の資質・能力)											
学習活動内容		1 基礎力	2 思考力	3 主体的 学習力	4 傾聴力	5 自己理解・ 自己管理力	6 他者 理解力	7 計画 実行力	8 発信・ 表現力	9 ストレス コントロール力	10 実践力
1	隨筆	○		○			○				
2	評論	○	◎	○							
3	小説	○	○	○		◎	◎				
4	詩歌	○		○			○		○		○
5	表現	○	○	○	◎	○	○		◎		○
6	文学史	○		○				○			
7	語彙	○		○				○			
評価の観点	关心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解						
	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話し、また、的確に聞き取ったり話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取り目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。						
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。										
	活動の観察①(授業に対する取り組みの姿勢全般)	活動の観察②(グループ学習時の発表内容や人の意見を聞く態度)	記述の確認及び分析(ノート、ワークシート、原稿用紙等)	定期考査に対する取り組み(ノート、ワークシート、原稿用紙等)	小テストや課題確認テストに対する取り組み(ノート、ワークシート、原稿用紙等)	週末課題や長期休業中の課題に対する取り組み(ノート、ワークシート、原稿用紙等)					
	关心・意欲・態度	◎	○		○	○					○
	話す・聞く能力		◎								
	書く能力			◎							
	読む能力			◎							
	知識・理解				◎		◎		◎		◎

授業計画

授業計画				実施状況	
月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前 期	4 オリエンテーション	1 ①評論1 「世界をつくり替えるために」	・1年間の授業ガイダンス ・評論を読み、表現の特徴に注意して筆者 者の主張を的確に捉える。	1 4	
	5 小説一 「山月記」中島敦	7	・小説を読み、そこに描かれた場面や登場 人物について表現に即して捉える。	4 7	
	6 前期中間考査	1	前期中間考査	1	
		①評論1 「ミロのヴィーナス」	・評論を読み、表現の特徴に注意して筆者 者の主張を的確に捉える。	6	
	7 ④詩歌 「未確認飛行物体」「永訣の朝」	4	・詩・短歌・俳句を読み、それぞれの表現 の特質を理解して味わう。	4	
	8 ③評論2 「科学的『発見』とは」	4	・評論を読み、根拠を確かめながら、筆者 の主張を捉える。	4	
	9 前期期末考査	1	前期期末考査	1	
	9 ⑤評論3 「おじいさんのランプ」	7	・情報化社会を題材とする評論を読み、視 野を広げる。	6	
		計 35		30	
後 期	10 短歌・俳句 「牡丹花は——短歌抄」「プラタナス——俳句抄」	4	・詩・短歌・俳句を読み、それぞれの表現 の特質を理解して味わう。 ・短詩型文学の基本的な知識や表現技法 を確認し、音読を通してリズムを味わい、 内容を理解する。	4	
		5 ⑥評論3 「消費されるスポーツ」	・情報化社会を題材とする評論を読み、視 野を広げる。 ・筆者の提示する問題を読み取って整理 し、筆者の価値観を理解することで新たな 視点を持つ。	5	
	11 ⑦評論4 「『である』ことと『する』こと」	5	・社会と人間のあり方を主題とする評論を 読み、自己の価値観と照らし合わせて考 え ・例示と意見の関係を整理して主張を捉 え、変化する社会における人間のあり方に ついて考える。	5	
	12 後期中間考査	1	後期中間考査	1	
		8 ⑥小節2 「こころ」	・小説における場面展開や、人間の性格、 心理の描写を読み取る。 ・人間関係における人物の心情を的確に 把握して、人の心のありようについて考 えを深める。	8	
	1 ⑨評論5 「日本人の美意識」	6	・絵画や地図を参考にして評論を読み、 構成・展開・要旨を的確に理解する。 ・図を適切に参照して本文中の対比を捉 え、日本と西欧の美意識の違いを理解す る。	6	
	2 「地図の想像力」	2	・提示されている地図に注目して論の展開 を押さえ、地図に対する筆者の考えを読 み取る。	2	
		1 後期期末考査	後期期末考査	1	
	3 「地図の想像力」	3		3	
		計 35		35	

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任							
国語	古典B (理系古典B(前半))	2	2年次理系	坂井淳 齊藤裕子							
使用教科書	東京書籍 精選古典B 新版		使用副教材	カラー版 新国語便覧 新版五訂 (第一学習社) 東京書籍 精選古典B新版 学習課題ノート 基礎から解説へ 新しい古典文法 四訂新版 (桐原書店) 基礎から解説へ 新しい古典文法演習ノート 四訂新版 (桐原書店) 出る所で学ぶ 頻出古典単語400改訂版 (2会) 必携 句法と語彙と一緒に学ぶ 新明解漢文 (尚文出版) 必携 句法と語彙の定着を図る 新明解漢文ノート 修訂版 (尚文出版) 尚文出版 大学入学共通テスト対策版 基礎古典							
科目の目標				道徳教育のねらい							
古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。				人間と人間との関係の中で、互いの立場や考え方を尊重し合えるような、道徳的心情や道徳的判断力を養う。							
市函DP (本校で身に付けさせたい10の資質・能力)											
学習活動内容		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
基礎力	思考力	主体的学習力	傾聴力	自己理解・自己管理力	他者理解力	計画実行力	発信・表現力	ストレスコントロール力	実践力		
1 古文説話	○	○									
2 古文隨筆	○	○									
3 古文物語	○	○									
4 古文日記	○	○						○			
5 古文軍記	○	○	○								
6 古文和歌	○	○			○						
7 古文評論	○	○	○								
8 古文文法	○	○					○		○		
9 古文文学史	○	○					○				
10 漢文小説	○	○							○		
11 漢文史伝	○	○									
12 漢文小説	○	○			○						
13 漢文思想	○	○		◎	○				○		
14 漢文文章	○	○									
15 漢文漢詩	○	○	○		○						
16 漢文句法	○	○					○		○		
17 漢文重要語	○	○					○				
評価の観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解						
	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話し、また、的確に聞き取ったり話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取つたり目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。						
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。				活動の観察①活動の観察②記述の確認及定期考査に対する取り組み姿勢と結果	小テストや課題確認テストに対する取り組み姿勢と結果	週末課題や長期休業中の課題に対する取り組み姿勢と結果				
	関心・意欲・態度	◎	○		○	○	○	○	○	○	
	話す・聞く能力		◎								
	書く能力			◎	○	○	○	○	○	○	
	読む能力			◎	○	○	○	○	○	○	
	知識・理解				◎	○	○	○	○	○	

古典B（理系） 授業計画

授業計画				実施状況	
月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前期	課題確認テスト(1)		課題確認テスト(1)	1	
	オリエンテーション(1) 古文 説話・歌物語(7)	・科目の学習内容を知る。 ・和歌の内容と文章の関係をふまえ登場人物の心情を読み取る。 ・和歌に使用されている表現技法を理解する。 ・人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえる。 ・内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 ・語句の意味、用法及び文の構造を理解する。	説話 『宇治拾遺物語』 小野篁、広才のこと 歌物語 『大和物語』 姥捨	7	
	漢文 故事(4)		故事 『十八史略』 先從陳始 『世說新語』 漱石枕流 ほか	4	
	前期中間考査(1)		前期中間考査(1)	1	
	古文 古典文法 敬語(3) 古文 隨筆(4)	・敬語について理解する。 ・作者以外の「女房たち」がとった行動を状況ごとに順にまとめる。	新しい古典文法 演習ノート 25~27 隨筆 『枕草子』 中納言殿参り給ひて	7	
	夏季休業明けテスト(1)		夏季休業明けテスト(1)	1	
	入試問題研究I(2)	・基本的な文法事項に気をつけ、逐語訳しながら正確に読解する。 ・サブテキストを使いながら、大学入学共通テストに対応できるよう新傾向問題について研究する。	『古本説話集』 『花月草紙』	2	
	漢文 史記(5)	・語句や表現に注意して文脈をとらえ、登場人物の心情を読み取る。 ・文章に出てくる句法を理解し、正しく現代語訳する。	史伝 『史記』 鴻門の会	5	
	前期期末考査(1)		前期期末考査(1)	1	
	漢文 史記(3) 入試問題研究II(2)	・基本的な句法に気をつけながら、正確に読解をする。 ・サブテキストを使いながら、大学入学共通テストに対応できるよう新傾向問題について研究する。	史伝 『史記』 鴻門の会 『蒙求』 『世說新語』 新傾向問題の研究	3 2	
後期	古文 日記(4)	・表現に注意して文脈をとらえ、作者の物語に対する心情をまとめる。	日記 『更級日記』 東路の道の果て	4	
	古文 物語(7)	・語句や表現に注意して文脈をとらえ、内容をまとめる。	物語 『源氏物語』 光源氏誕生	7	
	漢文 文章(5)	・屈原と漁父の問答について、それぞれの考え方をまとめる。 文章中の対句表現を理解する。	文章 『漁父の辞』	5	
	古文 隨筆(3)	・「無常」に対する作者の考えを読み取り、自分なりに考える。 ・修辞法を理解する。	隨筆 『方丈記』 ゆく川の流れ	3	
	後期中間考査(1)		後期中間考査(1)	1	
	入試問題研究III(2)	・サブテキストを使いながら、大学入学共通テストに対応できるよう新傾向問題について研究する。 ・作問者の気持ちを想像しながら、問われるポイント理解する。	『今昔物語』(1) 『徒然草』(1) 新傾向問題の研究	2	
	冬期休業明けテスト(1)		冬期休業明けテスト(1)	1	
	古文 歴史物語(6)	・「いま二度延べさせ給へ」の内容を二通りに解釈し、発言の真意に迫る。 ・登場人物によって敬語が使い分けられていることを理解する。	歴史物語 『大鏡』 南院の競射	6	
	漢文 思想(4)	・語句や表現に注意して文脈をとらえ、それぞれの思想の特徴を読み取る。	思想『論語』『孟子』『荀子』	4	
	後期期末考査(1)		後期期末考査(1)	1	
3	入試問題研究IV(2)	・サブテキストを使いながら、大学入学共通テストに対応できるよう新傾向問題について研究する。 ・作問者の気持ちを想像しながら、問われるポイント理解する。	『堤中納言物語』(1) 『和歌』(1) 『説苑』(1) 『唐詩選』(1)	2	

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任							
国語	古典B (文系古典B(前半))	3	2年次文系	高市道広・齊藤裕子							
使用教科書	東京書籍 精選古典B 新版		使用副教材	カラー版 新国語便覧 新版五訂 (第一学習社) 東京書籍 精選古典B新版 学習課題ノート 基礎から解説へ 新しい古典文法 四訂新版 (桐原書店) 基礎から解説へ 新しい古典文法演習ノート 四訂新版 (桐原書店) 出来る順で学ぶ 順序古典単語400改訂版 (Z会) 必携 句法と語彙と一緒に学ぶ 新明解漢文 (尚文出版) 必携 句法と語彙の定義を図る 新明解漢文ノート 修訂版 (尚文出版) 尚文出版 大学入学共通テスト対策版 基礎古典							
科目の目標				道徳教育のねらい							
古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。				人間と人間との関係の中で、互いの立場や考え方を尊重し合えるような、道徳的心情や道徳的判断力を養う。							
市函DP (本校で身に付けさせたい10の資質・能力)											
学習活動内容		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
基礎力	思考力	主体的学習力	傾聴力	自己理解・自己管理力	他者理解力	計画実行力	発信・表現力	ストレスコントロール力	実践力		
1 古文説話	○		○								
2 古文隨筆	○		○								
3 古文物語	○		○								
4 古文日記	○		○					○			
5 古文軍記	○		○	○							
6 古文和歌	○		○			○					
7 古文評論	○	○	○								
8 古文文法	○		○				○		○		
9 古文文学史	○		○				○				
10 漢文小説	○		○						○		
11 漢文史伝	○		○							○	
12 漢文小説	○	○	○			○					
13 漢文思想	○		○		◎	○			○		
14 漢文文章	○		○								
15 漢文漢詩	○		○	○		○					
16 漢文句法	○		○				○		○		
17 漢文重要語	○		○				○				
評価の観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解						
	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話し、また、的確に聞き取ったり話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取り目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。						
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。										
	活動の観察① (授業に対する取り組みの姿勢全般)	活動の観察② (グループ学び分析)	記述の確認及 (ノート、ワーク)	定期考査に対する取り組み (姿勢と結果シート、原稿用紙等)	小テストや課題確認テスト	週末課題や長期休業中の課題に対する取り組み (姿勢と結果)	期末課題や長期休業中の課題に対する取り組み (姿勢と結果)				
関心・意欲・態度		◎	○		○	○	○				
話す・聞く能力			◎								
書く能力				◎	○	○	○				
読む能力				◎	○	○	○				
知識・理解					◎	◎	◎				

古典B（文系） 授業計画

授業計画

授業計画				実施状況	
月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前 期	課題確認テスト(1)		課題確認テスト(1)	1	
	オリエンテーション(1) 古文 説話・歌物語(7)	・科目的学習内容を知る。 ・和歌の内容と文章の関係をふまえ登場人物の心情を読み取る。 ・和歌に使用されている表現技法を理解する。	説話 『宇治拾遺物語』小野篁、広才のこと 歌物語 『大和物語』媛捨	7	
	漢文 故事(4)	・人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえる。 ・内容を構成や展開に即して的確にとらえる。	故事 『十八史略』先從隗始 『世說新語』漱石枕流ほか	4	
	古文 古典文法 敬語(3) 古文 隨筆(4)	・敬語について理解する。 ・作者以外の「女房たち」がとった行動を状況ごとに順にまとめる。	新しい古典文法 隨筆 『枕草子』 中納言殿参り給ひて	7	
	漢文 漢詩(4)	・日本の文化の特質や中国の文化との関係について理解を深める。 ・漢詩の構成上・音声上の規則を理解して読み味わう。	漢詩 絶句・律詩	4	
	前期中間考査(1)		前期中間考査(1)	1	
	古文 隨筆(4) 古文 日記(3)	・「すさまじきもの」の対象をまとめる。 ・表現に注意して文脈をとらえ、作者の物語に対する心情をまとめる。	隨筆 『枕草子』 すさまじきもの 日記 『更級日記』東路の道の果て	7	
	夏季休業明けテスト(1)		夏季休業明けテスト(1)	1	
	入試問題研究 I (3)	・基本的な文法事項に気をつけ、逐語訳しながら正確に読解する。 ・サブテキストを使いながら、大学入学共通テストに対応できるよう新傾向問題について研究する。	『十訓抄』 『徒然草』 『玉勝間』 新傾向問題の研究	3	
	漢文 史記(8)	・語句や表現に注意して文脈をとらえ、登場人物の心情を読み取る。 ・文章に出てくる句法を理解し、正しく現代語訳する。	歴史 『史記』鴻門の会	8	
後 期	前期期末考査(1)		前期期末考査(1)	1	
	漢文 史記(4) 入試問題研究 II (3)	・基本的な句法に気をつけながら、正確に読解をする。 ・サブテキストを使いながら、大学入学共通テストに対応できるよう新傾向問題について研究する。	史伝 『史記』四面楚歌 『列女伝』 『戦国策』 『蒙求』 新傾向問題の研究	4	
	古文 日記(5)	・表現に注意して文脈をとらえ、作者の物語に対する心情をまとめる。	日記 『更級日記』物語	5	
	古文 物語(12)	・語句や表現に注意して文脈をとらえ、内容をまとめる。	物語 『源氏物語』光源氏誕生	6	
	漢文 文章(12)	・和歌お情景を、表現に注意して読み、登場人物の状況をとらえる。 ・屈原と漁父の問答について、それぞれの考え方をまとめる。 ・文章中の対句表現を理解する。 ・段落ごとにそれぞれのあらすじをまとめる。	物語 『源氏物語』小柴垣のもと 文章 『漁父の辞』 文章 『桃花源記』	6	
	後期中間考査(1)		後期中間考査(1)	1	
	入試問題研究 III (2)	・サブテキストを使いながら、大学入学共通テストに対応できるよう新傾向問題について研究する。 ・作問者の気持ちを想像しながら、問われるポイント理解する。	『古今著聞集』(1) 『堤中納言物語』(1) 新傾向問題の研究	2	
	冬期休業明けテスト(1)		冬期休業明けテスト(1)	1	
	古文 隨筆(3)	・「無常」に対する作者の考えを読み取り、自分なりに考える。 ・文章に用いられている修辞法を理解する。	隨筆 『方丈記』ゆく川の流れ	3	
	古文 歌謡(6)	・それぞれの歌の主題をとらえ、表現上の特徴を理解する。	歌謡・和歌・歌謡	6	
後 期	漢文 思想(4)	・語句や表現に注意して文脈をとらえ、それぞれの思想の特徴を読み取る。	思想 『論語』『孟子』『荀子』	4	
	古文 歴史物語(5)	・文章に出てくる句法を理解する。 ・「いま二度延べさせ給へ」の内容を二通りに解釈し、発言の真意に迫る。 ・登場人物によって敬語が使い分けられていることを理解する。	歴史物語 『大鏡』南院の競射	5	
	後期期末考査(1)		後期期末考査(1)	1	
後 期	入試問題研究 IV (2)	・サブテキストを使いながら、大学入学共通テストに対応できるよう新傾向問題について研究する。 ・作問者の気持ちを想像しながら、問われるポイント理解する。	『神仙伝』(1) 『説苑』(1) 新傾向問題の研究	2	

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任											
国語	国語研究A	2	2年次(選択)	高市道広											
使用教科書					使用副教材	自主教材(学校設定科目のため)									
科目の目標										道徳教育のねらい					
各年代の様々な作品に触れることにより、文章を的確に理解したり、自己の考えを表現したりする基礎的な能力を高める。										人間と人間との関係の中で、互いの立場や考え方を尊重し合えるような、道徳的心情や道徳的判断力を養う。					
市函DP(本校で身に付けさせたい10の資質・能力)															
学習活動内容			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10			
1 現代文 隨筆		○		○				○							
2 現代文 評論		○	◎	○											
3 現代文 小説		○	○	○		◎	◎								
4 古文 説話		○		○											
5 古文 物語		○		○											
6 漢文 小説		○		○								○			
7 漢文 史伝		○		○											
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															
16															
17															
18															
19															
20															
21															
22															
23															
24															
評価の観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解										
	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話し、また、的確に聞き取ったり話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取つたり目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。										
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。														
	活動の観察①(授業に対する取り組みの姿勢全般)	活動の観察②(グループ学習時の発表内容や人の意見)	記述の確認及(ノート、ワークシート、原稿用紙等)	定期考査対する取り組み姿勢と結果											
	関心・意欲・態度	○	○		○										
	話す・聞く能力		○												
	書く能力			○											
	読む能力			○											
	知識・理解				○										

国語研究A 授業計画

授業計画				実施状況		
	月 (時数)	単元・考查等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前期	4月 5月 (12)	現代文隨筆 (4) 現代文評論 (8)	ものを学ぶことの意味を、自分自身で考えてみる契機とする。自己の体験や価値観を他の人と分かち合うために隨筆を書いて発表し合う。 自分の生きている社会が、どのような課題に直面しているのかを知る。	「小説、この無能なものたち」 読解、要約 (2) 隨筆執筆 (1) 発表 (1) 「二十一世紀の課題」 読解 (4) 課題に対する意見文の執筆 (2) 発表 (2)		
	6月 (8)	中間考查 (1) 古文説話 (7)	古文に対する興味、関心を広げ、現代との関わりについても考える。	「北叟が馬」の読解 (2) 「正直の徳」の読解 (3) 「鬼の笛」の読解 (2) 主な故事成語の紹介 (1) 「蛇足」の読解 (3) 「朝三暮四」の読解 (2)		
	7月 (6)	漢文故事 (6)	故事成語のもとになった文章を正しく訓読し、叙述に即して的確に読み取る。	「サトウキビの森」の読解 (4)		
	8月 (6)	期末考查 (1)	自己を獲得していく営みが、小説を読むことで経験できることを知る。	「筒井筒」の読解 (3)		
	9月 (8)	現代文小説 (4)	人物、情景、心情などの表現に即して読みながら、歌物語についての知識を得る。			
		古文物語 (3)				
	10月 (8)	漢文史伝 (8)	『十八史略』の文章について、そこに描かれたできごとや人物の特徴を文章の構成や展開に即して読み取る。	「死諸葛走生仲達」の読解 (3) 「先從隗始」の読解 (2) 「臥薪嘗胆」の読解 (3)		
後期	11月 (8)	現代文小説 (7)	人のつながりや言葉に揺らがないコミュニケーションについて考えを深める。	「鮓」の読解 (4) 「ひよこトラック」の読解 (3)		
	12月 (6)	中間考查 (1) 現代文評論 (6)	主題を的確に読み取り、近代社会の成立と近代以降の考え方について理解し、考えを深優れた表現に親しみ、豊かな心情や感性を養う。	近代アートの誕生 (3) 身体像の近代化 (3)		
	1月 (4)	漢文漢詩 (4)		漢詩の規則 (1) 「江雪」、「送元二使安西」、「江南春」、「春望」 (2) 漢詩パズル (1)		
	2月 3月 (10)	期末考查 (1) 現代文表現 (9)	表現の特徴や効果を理解した上で、自分の思いや考えをまとめ、適切かつ効果的に表現して他者と伝え合う。	1分間スピーチ (2) プレゼンテーション (2) 問題解決のための討論 (2) 書評執筆 (2) 広告の仕掛けの読み取り (1)		

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教 科	科 目	単位数	年次・コース	教 科 担 任
国 語	作品講読	4	2年次	坂 井 淳
使用教材	• 堀辰雄『風立ちぬ/菜穂子』(小学館文庫) • 夏目漱石『文鳥・夢十夜』(新潮文庫) • 宮澤賢治『銀河鉄道の夜』(新潮文庫)他			

科 目 の 目 標	道徳教育のねらい
国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。近現代の名作をテクストに精読していくことで、文芸作品を読む楽しさを味わう。	人間と人間との関係の中で、互いの立場や考え方を尊重し合えるような、道徳的心情や道徳的判断力を養う。

	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
評価の観点	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話し、また、的確に聞き取ったり話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取りたり目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。

評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。						
	活動の観察① (授業に対する取り組みの姿勢全般)	活動の観察② (グループ学習時の発表内容や人の意見を聞く態度)	記述の確認及 分析 (ノート、ワークシート、原稿用紙等)	定期考査に対する取り組み姿勢と結果	小テストや課題確認テストに対する取り組み姿勢と結果	週末課題や長期休業中の課題に対する取り組み姿勢と成果	
関心・意欲・態度	◎	○		○	○	○	
話す・聞く能力		◎					
書く能力			◎				
読む能力			◎				
知識・理解				◎	◎	◎	

作品講読 授業計画

					実施状況	
	月 (時数)	単元・考查等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前 期	4	○近代文学講読Ⅰ (3 9) 堀辰雄「風立ちぬ」	戦時下の不安定な時代に生きた文学者の一人堀辰雄の代表作を読み、作者が目指した作品世界を紐解く。また、文芸評論の基礎を学ぶ。	・文学史 (1) ・テクストの精読 (3 2) ・先行研究を読む (2) ・文芸評論を書く (3) ・合評会 (1)		
	5					
	6	前期中間考查(1)		前期中間考查(1)		
	7	○近代文学講読Ⅱ (2 5) 夏目漱石「夢十夜」	文豪夏目漱石の小説の中では異色の幻想文学作品を読み、この作品を通して漱石が描きたかった世界観を読み取る。	・文学史 (1) ・テクストの精読 (1 8) ・先行研究を読む (2) ・文芸評論を書く (3) ・合評会 (1)		
	8					
	9	前期期末考查(1)		前期期末考查(1)		
後 期	10	○近代文学講読Ⅲ (4 0) 宮澤賢治「銀河鉄道の夜」	童話というジャンルの作品に触れ、使われている言葉の違いや時代背景など、精読することで深い解釈が可能となる面白さを体感する。	・文学史 (1) ・テクストの精読 (3 0) ・先行研究を読む (3) ・物語を書く (5) ・合評会 (1)		
	11	後期中間考查(1)		後期中間考查(1)		
	12	○近代文学講読Ⅳ (2 5) 韻文学の名作を読む	普段あまり馴染みのない韻文作品に触れ、詩とは何かを考える。短詩型は、実作することで鑑賞眼を育てる。	・韻文の修辞法 (1) ・文学史 (1) ・テクストの精読 (1 5) ・詩・短歌・俳句を書く (5) ・合評会 (3)		
	1					
	2	後期期末考查(1)		後期期末考查(1)		
	3	○函館文学序説 (7)	地元函館出身の作家の作品に触れ、函館がどのような影響を与えたかを検証する。	・函館文学史 (2) ・テクストの読解 (4) ・合評会 (1)		

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース		教科担任										
地理歴史	世界史B(世界史文系)	4	2年次・文系		鈴木司										
使用教科書	高校世界史B(山川出版社)			使用副教材		ニューステージ世界史詳覧(浜島書店)									
科目的目標										道徳教育のねらい					
世界の歴史を、わが国の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察することによって歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。										我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての理解と認識を深め、国際社会に主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する日本国民として必要な自覚と資質を養う。					
学習活動内容			市函DP(本校で身に付けさせたい10の資質・能力)												
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10			
基礎力			基礎力	思考力	主体的学習力	傾聴力	自己理解・自己管理力	他者理解力	計画実行力	発信・表現力	ストレスコントロール力	実践力			
1 第1章 オリエントと地中海世界	○	○	○						○		○				
2 第2章 アジア・アメリカの古代文明	○	○	○						○		○				
3 第3章 内陸アジア世界・東アジア世界の形成	○	○	○						○		○				
4 第4章 イスラーム世界の形成と発展	○	○	○						○		○				
5 第5章 ヨーロッパ世界の形成と発展	○	○	○						○		○				
6 第6章 内陸アジア世界・東アジア世界の展開	○	○	○						○		○				
7 第7章 アジア諸地域の繁栄	○	○	○						○		○				
8 第8章 近世ヨーロッパ世界の形成	○	○	○						○		○				
9 第9章 近代ヨーロッパ世界の展開	○	○	○						○		○				
10 第10章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	○	○	○						○		○				
11 第11章 歐米における近代国民国家の発展	○	○	○						○		○				
12 第12章 アジア諸地域の動搖	○	○	○						○		○				
13 第13章 帝国主義とアジアの民族運動	○	○	○						○		○				
14 第14章 二つの世界大戦	○	○	○						○		○				
15 第15章 冷戦と第三世界の独立	○	○	○						○		○				
16 第16章 現代の世界	○	○	○						○		○				
17 グループワーク		○	○	○	◎	○	◎		◎	○	○				
18 課題提出		○	○	◎		○		○		◎	○				
19 考査	○	○						○	◎						
評価の観点	関心・意欲・態度		思考・判断		技能・表現		知識・理解								
	世界の歴史の大さな枠組みと流れに対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる國家・社会の一員としての責任を果たそうとする。		世界の歴史から課題を見だし、文化の多様性と現代世界の特質を世界史的視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断し、表現する。		世界の歴史についての諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追究する方法を身に付けるとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現する。		世界の歴史についての基本的な事柄を、日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。								
評価の方法	小テストや課題、ノートや授業中の発表・発言・討議などに取り組む姿勢から、意欲的に取り組んだかを評価する。		定期考査や小テスト、課題などにより、因果関係や課題を発見し多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえて公正に判断し、表現できるかどうかを評価する。		定期考査や小テスト、課題などにより、情報を利用することを身に付けて、歴史的事象を追究し考察した過程や結果を適切に表現できるかどうかを評価する。		定期考査や小テスト、課題などにより、基本的な事柄を理解し、知識を身に付けているかどうかを評価する。								

世界史B(世界史文系) 授業計画

学習指導計画					実施状況	
	月 (時数)	単元・考查等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前 期	4月	オリエンテーション(1) 第1章 オリエントと地中海世界(19)	・世界史に興味関心を持つ。 ・オリエントや地中海世界について、諸資料を活用し文明の特質を理解する。	世界史への扉・先史の世界(1) 1 古代オリエント世界(7) 2 ギリシア世界(6) 3 ローマ世界(6)	前 期	
	5月	前期中間考查(1)		1 インドの古典文明(5) 2 東南アジアの諸文明(1) 3 中国の古典文明(6) 4 南北アメリカ文明(1)		
	6月	第2章 アジア・アメリカの古代文明(13)	・インド・中国、東南アジア、アメリカについて、諸資料を活用し文明の特質を理解する。	1 草原の遊牧民とオアシスの定住民(1) 2 北方民族の活動と中国の分裂(8) 3 東アジア文化圏の形成(8)		
	7月	第3章 内陸アジア世界・東アジア世界の形成(17)	・東アジア世界における中国と周辺民族との関係を理解する。	1 イスラーム世界の形成(4) 2 イスラーム世界の発展(4) 3 インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化(2) 4 イスラーム文明の発展(1)		
	8月	前期期末考查(1)		1 西ヨーロッパ世界の成立(8) 2 東ヨーロッパ世界の成立(3) 3 西ヨーロッパ中世世界の変容(10) 4 西ヨーロッパの中世文化(1)		
	9月	第4章 イスラーム世界の形成と発展(11)	・イスラーム世界の形成と拡大の過程、各地に与えた影響を理解する。	1 トルコ化とイスラーム化の進展(2) 2 東アジア諸地域の自立化(6) 3 モンゴルの大帝国(4)		
	10月	第5章 ヨーロッパ世界の形成と発展(22)	・中世ヨーロッパ世界の形成と特質を、キリスト教と関連づけて理解する。	1 東アジア世界の動向(3) 2 清代の中国と隣接諸地域(6) 3 トルコ・イラン世界の展開(2) 4 ムガル帝国の興隆と東南アジア交易の発展(2)		
	11月	第6章 内陸アジア世界・東アジア世界の展開(12)	・地図などをもとに諸地域世界の特色と交流や関係を理解する。	1 ヨーロッパ世界の拡大(3) 2 ルネサンス(2) 3 宗教改革(3) 4 ヨーロッパ諸国の抗争と主権国家体制の形成(8)		
	12月	後期中間考查(1)		1 重商主義と啓蒙專制主義(10) 2 ヨーロッパ諸国の海外進出(1) 3 17～18世紀のヨーロッパ文化と社会(1)		
後 期	1月	第7章 アジア諸地域の繁栄(13)	・16～18世紀のアジア諸地域世界の動向を理解し、周辺諸民族との関係を考察する。	1 重商主義と啓蒙專制主義(10) 2 ヨーロッパ諸国の海外進出(1) 3 17～18世紀のヨーロッパ文化と社会(1)	後 期	
	2月	第8章 近世ヨーロッパ世界の形成(16)	・ヨーロッパ世界の拡大と変革、主権国家体制の形成過程を理解する。	1 重商主義と啓蒙專制主義(10) 2 ヨーロッパ諸国の海外進出(1) 3 17～18世紀のヨーロッパ文化と社会(1)		
	3月	後期期末考查(1)		1 重商主義と啓蒙專制主義(10) 2 ヨーロッパ諸国の海外進出(1) 3 17～18世紀のヨーロッパ文化と社会(1)		

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース				教科担任								
地歴・公民	日本史A	2	2年次				小林 琢								
使用教科書	山川出版社 日本史A 改訂版				使用副教材	第一学習社 最新日本史図表 四訂版									
科目の目標										道徳教育のねらい					
我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。										客観的かつ公正な資料に基づいて、事実の正確な理解に導くようにするとともに、多面的・多角的に考察し公正に判断する能力を育成する。					
市函D P (本校で身に付けさせたい10の資質・能力)															
学習活動内容		1 基礎力	2 思考力	3 主体的 学習力	4 傾聴力	5 自己理解・ 自己管理力	6 他者 理解力	7 計画 実行力	8 発信・ 表現力	9 ストレス コントロール力	10 実践力				
1 第1章 開国と維新		○	○												
2 第2章 近代国家の形成と発展		○	○	○											
3 第3章 産業化の推進と国民生活の変化		○	○	○											
4 第4章 第一次世界大戦と大正デモクラシー		○	○	○											
5 第5章 第二次世界大戦と日本		○	○	○											
6 第6章 占領下の日本		○	○	○											
7 第7章 日本の自立と経済成長		○	○	○											
8 第8章 現代の世界と日本		○	○	○											
9 グループワーク				○	○	○	◎		○	○	○				
10 課題提出		○	○	◎		○		○		◎	○				
11 考査		○	○					○		◎					
評価の観点		関心・意欲・態度		思考・判断		技能・表現		知識・理解							
		我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。		我が国の歴史の展開から課題を見いだし、世界史的視野に立って多面的・多角的に考察し、我が国の文化と伝統の特色についての認識を深めるとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。		我が国の歴史の展開に関する諸資料の中から有用な情報を選択し、活用するとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現する。		我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を世界史的視野に立って総合的に理解し、その知識を身に付けている							
評価の方法		次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。													
		授業での取組	課題への取組	定期考查	提出物	その他の資料	その他								
		○	◎		◎	○									
		◎	○	○		○									
		○		○	○	○									
		○	○	◎	○	○									

日本史A 授業計画

授業計画					実施状況	
月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)		単元 実施 時数	実施反省
前期	4 第1章 開国と維新 (10)	<p>開国の背景と、江戸時代の国際・経済・学問について学習し、維新への移行経緯を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペリー来航による開港の影響と諸条約の締結について理解する。 ・幕府主体の政治体制が崩れる過程と政治の動向について多角的に考察する。 ・天皇制の復活と、明治政府の諸政策について、政治・社会・文化の側面から考察する。 ・外交方針の対立と、対外関係を士族の動きと共に捉える。 	1 明治維新の背景 (2) 2 西洋への開国 (2) 3 政治秩序の崩壊 (2) 4 王政復古と急進的改革 (2) 5 新たな対外関係の樹立と内乱の終結 (2)			
	5 第2章 近代国家の形成と発展 (11)	<p>憲法を主軸においた国家作りと民衆運動について、その動向を多角的・多面的にとらえて考察する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・憲法の制定と国会の開設、及び初期議会の動向に着目し、国家の展開を理解する。 ・明治初期のアジアの動向と条約改正問題について、その問題点と過程について理解する。 ・日清戦争の過程とその後の列強進出についてその背景と結果について考察する。 ・政党内閣の出現と藩閥の形成について、元老たちの役割も踏まえ理解する。 ・日露戦争勃発の背景及び過程について理解し、三国干渉の経緯も含め考察する。 ・日露戦争の結果がもたらした影響と韓国進出の過程について理解する。 	1 立憲政治をめざして (1) 2 憲法の制定と議会の開設 (2) 3 東アジアの国際環境と条約改正問題 (2) 4 清国との戦い (1) 5 藩閥・政党の対立と協力 (1) 6 ロシアとの戦い (2) 7 日露戦争後の国際関係と日本 (2)			
	7 第3章 産業化の推進と国民生活の変化 (5)	<p>産業革命をもたらした当時の背景と、政府・民間企業の役割について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業革命の進展により資本主義が確立し、財閥が形成されたことを理解する。 ・急速な産業化がもたらした労働・公害問題と社会主義運動について理解する。 ・明治維新以降に生まれた西洋化と伝統を重んじる二つの側面を持った文化の形成について考察する。 ・人々の生活が西洋化と共に変化していく様子を理科いすると共に都市と農村の違いについて考察する。 	1 産業革命の進展 (1) 2 資本主義の確立とその特色 (1) 3 社会問題の発生 (1) 4 国民文化の形成 (1) 5 国民生活の変化 (1)			
	8 第4章 第一次世界大戦と大正デモクラシー (11)	<p>第一次世界大戦が、日本の東アジアにおける勢力拡張の動きに影響を与えたのはなぜか、国際政治や国内の動向を踏まえ多面的に考察する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政党内閣の成立の背景について考察し、政治の動向や社会の変化について考える。 ・第一次大戦の戦勝国が協力した国際協調と軍縮について考察する。 ・政党政治の変遷と限界、政権交代の仕組みについて理解する。 ・第一次世界大戦後の経済と社会の変化について、関東大震災が与えた影響を考慮して考察する。 ・生活のスタイルや大衆文化に着目し、現在との共通点や違いについて理解する。 	1 第一次世界大戦と日本の外交 (2) 2 デモクラシーの高まりと政党 (2) 3 國際協調と軍縮の進展 (2) 4 政党政治の時代 (2) 5 大戦中から戦後の経済と社会 (2) 6 都市化と大衆文化 (1)			
	9 第5章 第二次世界大戦と日本 (13)	<p>恐慌が発生した時代、日本経済・政治はどうに対処したのか、日本社会への影響を考察する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・強調外交のゆきづまりについて、対中政策の変化と共に考察する。 ・関東軍の軍事行動による満州事変と日本の国際的孤立について、世論を踏まえて考察する。 ・五・一五事件や二・二六事件によって政党内閣の時代が終わり、軍部が台頭した経過を理解する。 ・盧溝橋事件に始まる日中戦争の長期化が日本の社会・経済に与えた影響を考察する。 ・第二次世界大戦後のドイツ、イタリアとの同盟が日本に与えた影響と同盟結局にまで至る経緯について理解する。 ・太平洋戦争に至った経緯と国内の動向、植民地化の状態について考察する。 ・戦局の悪化から敗戦に至るまでの経過について考察する。 	1 昭和恐慌 (1) 2 協調外交のゆきづまり (1) 3 満州事変から国際的孤立へ (2) 4 軍部の政治的台頭 (2) 5 中国との戦い (2) 6 第二次世界大戦と世界新秩序 (1) 7 太平洋戦争 (1) 8 日本の敗北 (3)			
	10 第6章 占領下の日本 (8)	<p>GHQの民主化政策について考察する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法を柱に構築された日本の民主主義について理解する。 ・戦後の政治・経済混迷期をいかにして乗り切ったか考察する。 	1 占領政策の展開 (1) 2 戦後民主主義の定着 (2) 3 政治・経済の再建 (2) 4 独立の回復 (3)			
	11 第7章 日本の自立と経済成長 (6)	<p>国内政治の節目となる55年体制について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日米安保と市民・学生運動について理解する。 ・年平均10%を記録する日本経済の要因と日本社会への影響について考察する。 	1 55年体制の成立 (2) 2 安保体制下の日本 (2) 3 高度成長の光と影 (2)			
	12 第8章 現代の世界と日本 (7)	<p>石油危機を乗り越えた日本経済を世界の動向との比較から考察する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自民党政権転落による政局の流動化について考察する。 ・日米摩擦の激化と経済大国の苦悩を考察する。 ・テロの頻発と新しい安全保障について位置づける。 	1 激動する世界 (3) 2 国内政治の再編成 (2) 3 アジア太平洋地域と日本 (1) 4 21世紀の課題 (1)			

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任							
地歴・公民	日本史B文系	4	2年次	小林 琢							
使用教科書	山川出版社 詳説日本史B 改訂版		使用副教材	第一学習社 最新日本史図表 四訂版 山川出版社 詳説日本史10分間テスト 改訂版 山川出版社 日本史用語集 啓隆社 ステップアップ日本史 啓隆社 新日本史要点ノート応用編							
科目の目標				道徳教育のねらい							
我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。				客観的かつ公正な資料に基づいて、事実の正確な理解に導くようにするとともに、多面的・多角的に考察し公正に判断する能力を育成する。							
市函D P (本校で身に付けさせたい10の資質・能力)											
学習活動内容		1 基礎力	2 思考力	3 主体的 学習力	4 傾聴力	5 自己理解・ 自己管理力	6 他者 理解力	7 計画 実行力	8 発信・ 表現力	9 ストレス コントロール力	10 実践力
第I部 原始・古代											
1 第1章 日本文化のあけぼの		○	○	○							
2 第2章 律令国家の形成		○	○	○							
3 第3章 貴族政治と國風文化		○		○							
第II部 中世											
4 第4章 中世社会の成立		○	○	○							
5 第5章 武家社会の成長		○	○	○							
第III部 近世											
6 第6章 幕藩体制の確立		○		○							
7 第7章 幕藩体制の展開		○		○							
8 第8章 幕藩体制の動搖		○	○	○							
9 グループワーク				○	○	○	◎		○	○	○
10 課題提出		○	○	◎		○		○		◎	○
11 考査		○	○					○	○		
評価の観点	关心・意欲・態度	思考・判断			技能・表現			知識・理解			
	我が国の歴史の展開に対する关心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	我が国の歴史の展開から課題を見いだし、世界史的視野に立って多面的・多角的に考察し我が国の文化と伝統の特色についての認識を深めるとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。			我が国の歴史の展開に関する諸資料の中から有用な情報を選択し、活用するとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現する。			我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を世界史的視野に立って総合的に理解し、その知識を身に付けている			
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。										
	授業での取組	課題への取組	定期考査	提出物	その他の資料	その他					
	关心・意欲・態度	○	◎		◎		○				
	思考・判断	◎	○	○			○		○		○
	技能・表現	○		○	○		○		○		
	知識・理解	○	○	◎	○		○		○		

日本史B 授業計画

授業計画				実施状況			
	月(時数)	単元・考查等(配当時数)	学習のねらい	学習内容(配当時間)	単元実施時数	実施反省	
前期	4	第1章 日本文化のあけぼの(11)	<ul style="list-style-type: none"> 人類文化の発生を考え、日本列島における旧石器文化・縄文文化時代の社会を理解する。 大陸からの伝播の様子や地域性の異なる道具の分布を踏まえて弥生文化の形成を考察する。 地域の首長の出現から統一国家に至る過程を、古墳の内容からとらえる。 ヤマト政権の権力争いや大陸文化の摂取に着目して、飛鳥時代を考察する。 律令国家が成立するまでの動向と白鳳文化の形成過程について考察する。 律令体制の完成期としての奈良時代を、律令体制の状況を多角的・多面的にとらえて考察する。 天平文化における政治性と国際性、国家仏教の展開などに着目して、古代国家の展開を理解する。 平安前期を中心とした古代国家の推移について、東北征伐や政治改革、地方統治の変容を踏まえて、律令体制の変質を考察する。 藤原氏による摂関政治の成立過程と政治運営への影響について考察させる。 大陸文化の消化と宋法思想を前提とした新しい貴族文化として国風文化が展開されたことを理解する。 律令制に基づく地方統治体制の崩壊への対応が、公領支配の変質、荘園の拡大をもたらした経過を考察する。 院政期前後の土地支配形態を踏まえて、院政期の政治・経済・社会・文化を理解する。 	1 文化的始まり (3) 2 農耕社会の成立 (3) 3 古墳とヤマト政権 (5) 1 飛鳥の朝廷 (4) 2 律令国家への道 (7) 3 平城京の時代 (6) 4 天平文化 (2) 5 平安王朝の形成 (4) 1 摂関政治 (3) 2 国風文化 (4) 3 地方政治の展開と武士 (5) 1 院政と平氏の台頭 (3)			
	5	第2章 律令国家の形成(23)					
	6						
	7						
	8	第3章 貴族政治と国風文化(12)					
	9						
	10	第4章 中世社会の成立(17)					
	11						
後期	10	第5章 武家社会の成長(18)	<ul style="list-style-type: none"> 鎌倉幕府が東国での地方政権から全国的な武家政権に成長していく過程を理解する。 承久の乱に伴う公武關係の変化に着目して、将军独裁体制から執権政治の確立に至る過程を考察する。 蒙古襲来による政治・経済・文化への影響が幕府の衰退に繋がっていく事を理解する。 庶民や武士の活動が活発化し、鎌倉仏教が成立するなど、文化の新しい気運が生まれたことを理解する。 南北朝の動乱から室町幕府の成立と安定について、日本諸地域の動向などを踏まえて考察する。 庶民の活動が社会秩序の変革の原動力として成長していくことを踏まえて、幕府の動向や下剋上の風潮を考察する。 武家政権の支配の進展や東アジア世界との交流に着目して、武家文化と公家文化及び大陸文化と伝統文化のかかわりについて理解する。 応仁の乱以降、地方権力として登場した戦国大名や各地に展開した都市について、諸地域の地理的条件と関連づけて考察する。 	2 鎌倉幕府の成立 (4) 3 武士の社会 (4) 4 蒙古襲来と幕府の衰退 (3) 5 鎌倉文化 (3) 1 室町幕府の成立 (5) 2 幕府の衰退と庶民の台頭 (5) 3 室町文化 (5) 4 戦国大名の登場 (3) 1 織豊政権 (3) 2 桃山文化 (3) 3 幕藩体制の成立 (6) 4 幕藩社会の構造 (8) 1 幕政の安定 (4) 2 経済の発展 (8) 3 元禄文化 (5)			
	11	第6章 幕藩体制の確立(20)					
	12	第7章 幕藩体制の展開(17)					
	1						
	2						
	3	第8章 幕藩体制の動搖(22)	<ul style="list-style-type: none"> 農村や都市の変容により幕藩体制が動揺する中、幕府や諸藩が行った諸改革の意義とその影響を考察する。 江戸中期に確立した洋学や国学、新たな形で展開する文学・芸能・美術について、社会の変容に伴う幕藩体制の動搖と関連づけて考察する。 歐米諸国のアジア進出による国際情勢の変化やそれに伴う幕政の対処を踏まえて幕府が表退していく過程を考察する。 化政文化について、学問・思想・思想・教育・文学・美術・生活文化の新たな展開に着目し、江戸と地方の文化的交流にも留意して考察する。 	1 幕政の改革 (6) 2 宝暦・天明期の文化 (4) 3 幕府の衰退と近代への道 (6) 4 化政文化 (6)			

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任						
地理歴史	地理A	2	2年次・文系	二瓶 賢一						
使用教科書	高校生の地理A(帝国書院)		使用副教材	詳解現代地図(二宮書店)						
科目的目標				道徳教育のねらい						
現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。				地域・社会・世界に対する認識を深め、社会の一員としての必要な自覚と資質を養う。						
市函D.P.(本校で身に付けさせたい10の資質・能力)										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	基礎力	思考力	主体的学習力	傾聴力	自己理解・自己整理力	他者理解力	計画実行力	発信・表現力	ストレスコントロール力	実践力
学習活動内容										
第Ⅰ部 さまざまな地図と地理的技能										
1 1章 地理情報と地図	○	○	○							
2 2章 地図の活用と地域調査	○	○	○				○		○	
第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察										
3 1章 自然環境	○	○	○				○		○	
4 2章 資源と産業	○	○	○				○		○	
5 グループワーク		○	○	○	○	◎	◎	○	○	
6 課題提出			○	◎	○		○		◎	○
7 考査	○	○					○	◎		
評価の観点		関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現			知識・理解			
		現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての責任を果たそうとする。	現代世界の地理的事象から課題を見いだし、それを系統地理的に考察したり、歴史的背景を踏まえて地誌的に考察したり、国際社会の変化を踏まえて公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取つたり図表などにまとめたりしている。			現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。			
評価の方法		小テストや課題、ノートや授業中の発表・発言、討議などに取り組む姿勢から、意欲的に取り組んだかを評価する。	定期考査や小テスト、課題などにより、系統地理的、地誌的に考察し、判断した過程や結果を表現できるかどうかを評価する。	定期考査や小テスト、課題などにより、地図や統計、画像などの資料を活用して情報を得て、まとめることができるかどうかを評価する。			定期考査や小テスト、課題などにより、基本的な事柄を理解し、知識を身に付けているかどうかを評価する。			
学習指導計画					実施状況					
月(時数)	単元・考査等(配当時数)	学習のねらい	学習内容(配当時間)			単元実施時数	実施反省			
前期	4月 第Ⅰ部 現代世界の特色と世界の被地域の問題 1章 旅からとらえる現代社会(7)	・地図の種類について理解し、地図の特性や特徴の求め方を通して地理的技能を身に付ける。	①～⑤ 地球上の位置(4) ⑥～⑨ 国家と国家間の結びつき(3)				前	期		
	5月 2章 世界の自然環境と文化(11)	・人々の生活に与える環境を理解し、地形や気候などを通して人間生活との関わりについて理解を深める。	1節 地形(5) 2節 気候(4) 3節 文化(4)							
	6月 前期中間考査(1)	・生活文化について、衣食住や民族・宗教を取りあげ、それらの分布や地域的の差異と世界的な同一化について考察する。	1節 中国の生活文化(3) 2節 韓国の生活文化(2) 3節 東南アジアの生活文化(3)							
	7月 3章 世界の被地域の生活・文化(26)									
	8月 前期期末考査(1)									
	9月									
後期	10月						後	期		
	11月									
	12月 後期中間考査(1)	・地誌の考察方法について、地誌的に考察する方法として、多様な事象を項目ごとに整理して考察する方法、特色ある事象と他の事象を有機的に関連づけて考察する方法、対照的又は類似的な性格の二つの地域を比較して考察する方法があることを理解する。	4節 南アジア(2) 5節 中央アジア・西アジア・北アフリカ(2) 6節 サハラ以南のアフリカ(2) 7節 ヨーロッパ(3) 8節 ロシア(2) 9節 アメリカ合衆国(3) 10節 ラテンアメリカ(2) 11節 オセアニア(2)							
	1月									
	2月									
	3月 後期期末考査(1)	・現代世界における日本の特色について、多面的・多角的に考察し、日本が抱える地理的な諸課題を探求する活動を通して、その解決の方向性や将来の国土のあり方などについて展望する。	①～⑤ 主題図・GISを用いた地図(2) 1節 日本の自然環境(1) 2節 防災の取り組み(1) ①～⑤ 地域調査(2)							

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任											
地理歴史	地理B	2	2年次・理系	鈴木 司・吉田 崇											
使用教科書	新詳地理B（帝国書院）				使用副教材	詳解現代地図（二宮書店） フォトグラフィア地理図説（とうほう）									
科目の目標								道徳教育のねらい							
現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。								地域・社会・世界に対する認識を深め、社会の一員としての必要な自覚を養う。							
学習活動内容			市函DP（本校で身に付けさせたい10の資質・能力）												
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10			
			基礎力	思考力	主体的学習力	傾聴力	自己理解・自己管理力	他者理解力	計画実行力	発信・表現力	ストレスコントロール力	実践力			
第I部 さまざまな地図と地理的技能															
1 1章 地理情報と地図			○	○	○										
2 2章 地図の活用と地域調査			○	○	○					○		○			
第II部 現代世界の系統地理的考察															
3 1章 自然環境			○	○	○					○		○			
4 2章 資源と産業			○	○	○					○		○			
5 グループワーク				○	○	○	○	◎		○	○	○			
6 課題提出				○	◎		○		○		◎	○			
7 考査			○	○					○	○					
評価の観点	関心・意欲・態度		思考・判断			技能・表現			知識・理解						
	現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての責任を果たそうとする。		現代世界の地理的事象から課題を見いだし、それを系統地理的に考察したり、歴史的背景を踏まえて地誌的に考察したりし、国際社会の変化を踏まえて公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。			地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取り図表などにまとめたりしている。			現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けていく。						
評価の方法	小テストや課題、ノートや授業中の発表・発言、討議などに取り組む姿勢から、意欲的に取り組んだかを評価する。			定期考査や小テスト、課題などにより、系統地理的、地誌的に考察し、判断した過程や結果を表現できるかどうかを評価する。			定期考査や小テスト、課題などにより、地図や統計、画像などの資料を活用して情報を得て、まとめることができるかどうかを評価する。			定期考査や小テスト、課題などにより、基本的な事柄を理解し、知識を身に付けているかどうかを評価する。					

地理理系前半 授業計画

授業計画				実施状況	
月 (時数)	単元・考查等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前期	4月 第I部 さまざまな地図と地理的技能 1章 地理情報と地図(3)	・地図の種類について理解し、地図の特性や時差の求め方を通して地理的技能を身に付ける。	1節 地図の発達(0.5) 2節 地図の種類とその利用(1.5) 3節 地理情報の地図化(1)		
	5月 2章 地図の活用と地域調査(3)	・地形図などを活用して、地域を多面的・多角的に調査し、地域的特色をとらえる地理的技能を身に付ける。	1節 地図の活用(2) 2節 身近な地域の調査(1)		
	6月 第II部 現代世界の系統地理的考察 1章 自然環境(28) 前期中間考查(1)	・地形や気候の特徴や分布などを理解し、人間生活との関わりについて考察する。 ・世界の環境問題について大観し、特徴と対策について考察する。	1節 世界の地形(10) 2節 世界の気候(11) 3節 日本の自然の特徴と人々の生活(2.5) 4節 環境問題(4.5)		
	7月				
	8月				
	9月 前期期末考查(1)				
後期	10月 2章 資源と産業(32)	・農業地域区分について理解し、現代世界及び日本の農林水産業と食料問題の現状と課題を考察する。	1節 世界の農林水産業(10) 2節 食糧問題(2)		
	11月				
	12月 後期中間考查(1)	・エネルギー・鉱産資源の利用と分布などを理解し、資源・エネルギー問題について考察する。 ・工業の発達や立地・工業地域について理解し、世界及び日本の工業の課題を考察する。	3節 世界のエネルギー・鉱産資源(3.5) 4節 資源・エネルギー問題(3.5) 5節 世界の工業(9)		
	1月				
	2月				
	3月 後期期末考查(1)	・第3次産業や交通・通信の発達による世界の一体化について理解し、現代世界の貿易と経済圏の現状や課題を考察する。	6節 第3次産業(1) 7節 世界を結ぶ交通・通信(1) 8節 現代世界の貿易と経済圏(2)		

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任										
地理歴史	地理B	4	2年次・文系	内山 直希										
使用教科書	新詳地理B（帝国書院）				使用副教材	詳解現代地図（二宮書店） フォトグラフィア地理図説（とうほう）								
科目の目標											道徳教育のねらい			
現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。											地域・社会・世界に対する認識を深め、社会の一員としての必要な自覚を養う。			
学習活動内容			市函D P（本校で身に付けさせたい10の資質・能力）											
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
			基礎力	思考力	主体的 学習力	傾聴力	自己理解・ 自己管理力	他者 理解力	計画 実行力	発信・ 表現力	ストレス コントロール力	実践力		
第I部 さまざまな地図と地理的技能														
1 1章 地理情報と地図			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>									
2 2章 地図の活用と地域調査			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
第II部 現代世界の系統地理的考察														
3 1章 自然環境			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
4 2章 資源と産業			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
5 3章 人口、村落・都市			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
6 4章 生活文化、民族・宗教			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
第III部 現代世界の地誌的考察														
7 1章 現代世界の地域区分			<input type="radio"/>											
8 2章 現代世界の諸地域			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>							<input type="radio"/>			
9 3章 現代世界と日本				<input type="radio"/>	<input type="radio"/>									
6 グループワーク				<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
7 課題提出					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>			
8 考査			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				
評価の観点	関心・意欲・態度		思考・判断			技術・表現			知識・理解					
	現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての責任を果たそうとする。		現代世界の地理的事象から課題を見いだし、それを系統地理的に考察したり、歴史的背景を踏まえて地誌的に考察したりし、国際社会の変化を踏まえて公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。			地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取りたり図表などにまとめたりしている。			現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けていく。					
評価の方法	小テストや課題、ノートや授業中の発表・発言、討議などに取り組む姿勢から、意欲的に取り組んだかを評価する。		定期考査や小テスト、課題などにより、系統地理的、地誌的に考察し、判断した過程や結果を表現できるかどうかを評価する。			定期考査や小テスト、課題などにより、地図や統計、画像などの資料を活用して情報を得て、まとめることができるかどうかを評価する。			定期考査や小テスト、課題などにより、基本的な事柄を理解し、知識を身に付いているかどうかを評価する。					

地理2年次文系 授業計画

授業計画				実施状況	
月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前 期	4月 第I部 さまざまな地図と地理的技能 1章 地理情報と地図(6)	・地図の種類について理解し、地図の特性や時差の求め方を通して地理的技能を身に付ける。	1節 地図の発達(1.5) 2節 地図の種類とその利用(2.5) 3節 地理情報の地図化(2)		
	5月 2章 地図の活用と地域調査(4)	・地形図などを活用して、地域を多面的・多角的に調査し、地域的特色をとらえる地理的技能を身に付ける。	1節 地図の活用(2) 2節 身近な地域の調査(2)		
	6月 第II部 現代世界の系統地理的考察 1章 自然環境(34) 前期中間考査(1)	・地形や気候の特徴や分布などを理解し、人間生活との関わりについて考察する。 ・世界の環境問題について大観し、特徴と対策について考察する。	1節 世界の地形(14) 2節 世界の気候(13) 3節 日本の自然の特徴と人々の生活(2.5) 4節 環境問題(4.5)		
	7月 前期期末考査(1)				
	8月 2章 資源と産業(42)	・農業地域区分について理解し、現代世界及び日本の農林水産業と食料問題の現状と課題を考察する。 ・エネルギー・鉱産資源の利用と分布などを理解し、資源・エネルギー問題について考察する。 ・工業の発達や立地・工業地域について理解し、世界及び日本の工業の課題を考察する。 ・第3次産業や交通・通信の発達による世界の一体化について理解し、現代世界の貿易と経済圏の現状や課題を考察する。	1節 世界の農林水産業(12) 2節 食糧問題(2) 3節 世界のエネルギー・鉱産資源(5) 4節 資源・エネルギー問題(5) 5節 世界の工業(12) 6節 第3次産業(2) 7節 世界を結ぶ交通・通信(2) 8節 現代世界の貿易と経済圏(2)		
	9月 第II部 現代世界の系統地理的考察 3章 人口、村落・都市(12)	・グラフなどの資料を読み取り、世界及び日本の人口問題について考察し表現する。 ・資料を活用して都市や村落について理解し、都市・居住問題の解決について考察し結果をまとめる。	1節 世界の人口(2.5) 2節 人口問題(2.5) 3節 村落と都市(4) 4節 都市・居住問題(3)		
	4章 生活文化、民族・宗教(12) 後期中間考査(1)	・文化や民族の特徴や分布について理解する。 ・現代世界の民族・領土問題の現状について理解し、課題を考察する。	1節 世界の衣食住(3) 2節 民族と宗教(3) 3節 現代世界の国家(2) 4節 民族・領土問題(4)		
後 期	第III部 現代世界の地誌的考察 1章 現代世界の地域区分(0.7)	・多様な観点から、地域区分や地誌の考察ができるることを理解する。	1節 地域区分とは何か(0.7)		
	2章 現代世界の諸地域(25.3)	・中国や朝鮮半島について、自然や産業、隣国との交流などの観点から考察する。 ・東南、南アジアについて、自然や産業、宗教などの多様な事象を項目ごとに整理して考察する。	1節 地域の考察方法(0.3) 2節 東アジア(8) 3節 東南アジア(9) 4節 南アジア(8)		
	後期期末考査(1)				

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

学習指導計画					実施状況	
月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元実施	実施反省	
前期	4(15) 数学Ⅱ 第1章 式と証明 (13) 5月上旬に単元テスト	数学Ⅱ 第1章のねらい 整式の乗法・除法および分数式の四則演算について理解できるようになるとともに、等式や不等式が成り立つことが証明できるようになる。	第1節 式と計算 (7) 第2節 等式と不等式の証明 (6)	4月		
	5(20) 数学Ⅱ 第2章 複素数と方程式 (12)	数学Ⅱ 第2章のねらい 方程式についての理解を深め、数の範囲を複素数まで拡張して2次方程式を解くこと及び因数分解を利用して高次方程式を解くことができるようになる。	第1節 複素数と2次方程式(8) 単元テスト (1) 第2節 高次方程式(4)	5月	前	
	6(23) 数学Ⅱ 第3章 図形と方程式 (24) 6月上旬前期中間考査	数学Ⅱ 第3章のねらい 座標や式を用いて、直線や円などの基本的な平面图形の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようになる。	第1節 点と直線 (10) 第2節 円 (8) 第3節 動跡と領域 (6) 前期中間考査 (1) 進研模試	6月		期
	7(10) 数学B 第1章 平面上のベクトル (16) 夏休み前に単元テスト	数学B 第1章のねらい ベクトルの基本的な概念について理解し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようになる。	第1節 ベクトルとその演算 (9) 第2節 ベクトルと平面图形 (7) 単元テスト (1)	7月		
	8(11) 8月夏休み明け 課題確認試験	数学B 第2章のねらい ベクトルの基本的な概念について理解し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようになる。	第2章 空間におけるベクトル(10)	8月		
	数学B 第2章 空間のベクトル (10)	数学B 第2章のねらい ベクトルの基本的な概念について理解し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようになる。	前期期末考査(2)	9月		
	9(20) 9月初旬前期期末考査	数学Ⅱ 第4章 三角関数 (18)	第1節 三角関数 (10) 第2節 加法定理 (8)			
	10(17) 数学Ⅱ 第5章 指数関数・対数関数 (14) 10月下旬単元テスト	数学Ⅱ 第5章のねらい 指数関数及び対数関数について理解し、それらを事象の考察に活用できるようになる。	第1節 指数関数(6) 第2節 対数関数(8) 単元テスト (1) (見学旅行)	10月		
	11(20) 数学B 第3章 数列 (22) 11月下旬後期中間考査	数学B 第3章のねらい 簡単な数列とその和及び漸化式について理解し、それらを事象の考察に活用できるようになる。	第1節 等差数列と等比数列(10) (進研模試11月) 第2節 いろいろな数列 (6) 第3節 数学的帰納法 (6) 後期中間考査 (2)	11月	後	
後期	12(17) 数学Ⅱ 第6章 微分法と積分法 (26)	数学Ⅱ 第6章のねらい 微分・積分の考え方について理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようになる。	第1節 微分係数と導関数 (7) 第2節 関数の値の変化(8)	12月		
	1(10) 1月冬休み明け 課題確認試験	数学Ⅱ Bの内容全体について、基礎事項の確認に取り組む。	第3節 積分法(11) (進研模試1月) 節の分割なし(12) (大学入学共通テスト対応模試2月) 後期期末考査 (2)	1月		期
	2(14) 数学Ⅱ Bの基礎演習 (12)		節の分割なし(13)	2月		
	3(13) 2月下旬後期期末考査 数学Ⅱ Bの応用演習 (13)	数学Ⅱ Bの内容全体について、共通テスト・2次試験等に対応できる実力養成のため、応用問題演習に取り組む。		3月		

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任
数学	数学ⅡB	6	2年次・理系β	齊藤洋平・澤邊 謙・谷藤純一
使用教科書	数研出版「改訂版 高等学校 数学Ⅱ」 数研出版「改訂版 高等学校 数学B」		使用副教材	数研出版「改訂版4プロセス数学Ⅱ・数学B 完成ノート」 数研出版「チャート式増補改訂版基礎からの数学Ⅱ+B」
科目の目標	「式と証明」、「複素数と方程式」、「図形と方程式」、「三角関数」、「ベクトル」、「指數関数と対数関数」、「数列」、「微分法と積分法」について理解させ基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。2クラス3展開の習熟度別少人数編成の授業により、きめ細かな指導を行う。課題、単元テスト等の取り組みを徹底し、基礎基本の定着を図ると共に応用問題に果敢に取り組む姿勢を養う。また、速い進度で進み、早期に数学ⅡB演習と数学Ⅲに取り組む。			道徳教育のねらい 数学を活用して考えたり判断したりしようとする態度や、工夫して生活や学習をしようとする態度を育てることで、また、生徒が事象を数理的に考察し、道筋を立てて考え、表現をする能力を高めることで、道徳的判断力を養う。

学習活動内容	市函D P (本校で身に付けさせたい10の資質・能力)									
	1 基礎力	2 思考力	3 主体的 学習力	4 傾聴力	5 自己理解・ 自己管理 力	6 他者 理解力	7 計画 実行力	8 発信・ 表現力	9 ストレス コントロール力	10 実践力
1 数学II 1章 式と証明(式と計算)	○	○	○	○				○		○
2 数学II 1章 式と証明(等式・不等式の証明)	○	○	○	○				○		○
3 数学II 2章 複素数と方程式(複素数と2次方程式の解)	○	○	○	○				○		○
4 数学II 2章 複素数と方程式(高次方程式)	○	○	○	○				○		○
5 数学II 3章 図形と方程式(点と直線)	○	○	○	○				○		○
6 数学II 3章 図形と方程式(円)	○	○	○	○				○		○
7 数学II 3章 図形と方程式(軌跡と領域)	○	○	○	○				○		○
8 数学B 1章 平面上のベクトル(ベクトルと演算)	○	○	○	○				○		○
9 数学B 1章 平面上のベクトル(ベクトルと平面図形)	○	○	○	○				○		○
10 数学B 2章 空間のベクトル	○	○	○	○				○		○
11 数学II 4章 三角関数(三角関数)	○	○	○	○				○		○
12 数学II 4章 三角関数(加法定理)	○	○	○	○				○		○
13 数学II 5章 指数関数・対数関数(指数関数)	○	○	○	○				○		○
14 数学II 5章 指数関数・対数関数(対数関数)	○	○	○	○				○		○
15 数学B 3章 数列(等差数列と等比数列)	○	○	○	○				○		○
16 数学B 3章 数列(いろいろな数列)	○	○	○	○				○		○
17 数学B 3章 数列(漸化式と数学的帰納法)	○	○	○	○				○		○
18 数学II 6章 微分法と積分法(微分係数と導関数)	○	○	○	○				○		○
19 数学II 6章 微分法と積分法(関数の値の変化)	○	○	○	○				○		○
20 数学II 6章 微分法と積分法(積分法)	○	○	○	○				○		○
21 数学II Bの応用演習①	○	○	○	○				○		○
22 数学II Bの応用演習②	○	○	○	○				○		○
23 グループワーク		○	○	○	○	◎		◎	○	○
24 課題提出	○	○	◎		○		○		◎	○
25 考査と单元テスト	○	○					○	◎		○

評価の観点	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解			
	数学的活動を通して、各単元における考え方に関心をもつとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	数学的活動を通して、各単元における数学的な見方や考え方を身につけ、事象を数学的に捉え、論理的に考察するとともに、過程を振り返り多面的・発展的に考察し、表現できる。	数学的活動を通して、各単元において、事象を数学的に考察し、処理する仕方や推論の技能を身につけ、的確に問題を解決できる。	数学的活動を通して、各単元における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身につけている。			
次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。		授業での取組	課題への取組	定期考査	単元テスト	課題確認テスト	他の資料
評価の方法	関心・意欲・態度	○	◎				○
	数学的な見方や考え方	◎	○	○	○	○	○
	数学的な技能	○	○	○	○	○	○
	知識・理解	○	○	○	○	○	○

学習指導計画					実施状況	
月(時数)	単元・考査等(配当時数)	学習のねらい	学習内容(配当時間)	単元実施	実施反省	
前期	4(15) 数学Ⅱ 第1章 式と証明 (13) 前 5(20) 5月上旬に単元テスト 数学Ⅱ 第2章 複素数と方程式 (12)	数学Ⅱ 第1章のねらい 整式の乗法・除法および分数式の四則演算について理解できるようになるとともに、等式や不等式が成り立つことが証明できるようとする。 数学Ⅱ 第2章のねらい 方程式についての理解を深め、数の範囲を複素数まで拡張して2次方程式を解くこと及び因数分解を利用して高次方程式を解くことができるようとする。	第1節 式と計算 (7) 第2節 等式と不等式の証明 (6) 第1節 複素数と2次方程式(8) 単元テスト (1) 第2節 高次方程式(4)	4月 5月	前 期	
	6(23) 数学Ⅱ 第3章 図形と方程式 (24) 6月上旬前期中間考査	数学Ⅱ 第3章のねらい 座標や式を用いて、直線や円などの基本的な平面图形の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようとする。	第1節 点と直線 (10) 第2節 円 (8) 第3節 軌跡と領域 (6) 前期中間考査 (1) 進研模試	6月		
	7(10) 数学B 第1章 平面上のベクトル (16) 夏休み前に単元テスト	数学B 第1章のねらい ベクトルの基本的な概念について理解し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようとする。	第1節 ベクトルとその演算 (9) 第2節 ベクトルと平面图形 (7) 単元テスト (1)	7月		
	8(11) 8月夏休み明け 課題確認試験	数学B 第2章のねらい ベクトルの基本的な概念について理解し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようとする。	第2章 空間ににおけるベクトル(10)	8月		
	9(20) 9月初旬前期期末考査 数学Ⅱ 第4章 三角関数 (18)	数学Ⅱ 第4章のねらい 角の概念を一般角まで拡張して、三角関数及び三角関数の加法定理について理解し、それらを事象の考察に活用できるようとする。	前期期末考査(2) 第1節 三角関数 (10) 第2節 加法定理 (8)	9月		
	10(17) 数学Ⅱ 第5章 指数関数・対数関数 (14) 後 11(20) 10月下旬単元テスト 数学B 第3章 数列 (22)	数学Ⅱ 第5章のねらい 指数関数及び対数関数について理解し、それらを事象の考察に活用できるようとする。 数学B 第3章のねらい 簡単な数列とその和及び漸化式について理解し、それらを事象の考察に活用できるようとする。	第1節 指数関数(6) 第2節 対数関数(8) 単元テスト (1) (見学旅行) 第1節 等差数列と等比数列(10) (進研模試11月)	10月 11月	後 期	
	12(17) 数学Ⅱ 第6章 微分法と積分法 (26)	数学Ⅱ 第6章のねらい 微分・積分の考え方について理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようとする。	第2節 いろいろな数列 (6) 第3節 数学的帰納法 (6) 後期中間考査 (2) 第1節 微分係数と導関数 (7) 第2節 関数の値の変化(8)	12月		
	1(10) 1月冬休み明け 課題確認試験	数学ⅡBの応用として、微分法、積分法の基礎として応用的な関数の概念を理解し、それを関数値の極限の考察に活用できるようとする。	第3節 積分法(11) (進研模試1月) 関数(12) (大学入学共通テスト対応模試2月)	1月 2月		
	2(14) 数学ⅡBの応用演習① (12)	数学ⅡBの応用として、微分法、積分法の基礎として極限の概念を理解し、それを数列と関数の極限の考察に活用できるようとする。	後期期末考査 (2) 数列の極限(13)	3月		
	3(13) 2月下旬後期期末考査 数学ⅡBの応用演習② (13)					

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任								
数学	数学ⅡB	6	2年次・文系	小笠原三守・谷藤純一・畠澤貴幸								
使用教科書	教研出版「改訂版 高等学校 数学Ⅱ」 教研出版「改訂版 高等学校 数学B」			使用副教材	教研出版「改訂版4プロセス数学Ⅱ・数学B 完成ノート」 教研出版「チャート式増補改訂版基礎からの数学Ⅱ+B」							
科 目 の 目 標		道徳教育のねらい										
<p>「式と証明」、「複素数と方程式」、「図形と方程式」、「三角関数」、「ベクトル」、「指數関数と対数関数」、「数列」、「微分法と積分法」について理解させ基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようになるとともに、それらを活用する態度を育てる。2クラス3展開の習熟度別少人数編成の授業により、きめ細かな指導を行う。課題、単元テスト等の取り組みを徹底し、基礎基本の定着を図ると共に応用問題に果敢に取り組む姿勢を養う。また、速い進度で進み、早期に数学ⅡB演習に取り組む。</p>												
学習活動内容			市函DP(本校で身に付けさせたい10の資質・能力)									
			1 基礎力	2 思考・分析力	3 主体的 学習力	4 傾聴力	5 自己認知・ 肯定力	6 他者 理解力	7 発信・ 表現力	8 計画 実行力	9 ストレス 対応力	10 問題解決・ 創造力
1 数学Ⅱ 1章 式と証明(式と計算)			○	○	○	○			○			○
2 数学Ⅱ 1章 式と証明(等式・不等式の証明)			○	○	○	○			○			○
3 数学Ⅱ 2章 複素数と方程式(複素数と2次方程式の解)			○	○	○	○			○			○
4 数学Ⅱ 2章 複素数と方程式(高次方程式)			○	○	○	○			○			○
5 数学Ⅱ 3章 図形と方程式(点と直線)			○	○	○	○			○			○
6 数学Ⅱ 3章 図形と方程式(円)			○	○	○	○			○			○
7 数学Ⅱ 3章 図形と方程式(軌跡と領域)			○	○	○	○			○			○
8 数学B 1章 平面上のベクトル(ベクトルと演算)			○	○	○	○			○			○
9 数学B 1章 平面上のベクトル(ベクトルと平面図形)			○	○	○	○			○			○
10 数学B 2章 空間のベクトル			○	○	○	○			○			○
11 数学Ⅱ 4章 三角関数(三角関数)			○	○	○	○			○			○
12 数学Ⅱ 4章 三角関数(加法定理)			○	○	○	○			○			○
13 数学Ⅱ 5章 指数関数・対数関数(指数関数)			○	○	○	○			○			○
14 数学Ⅱ 5章 指数関数・対数関数(対数関数)			○	○	○	○			○			○
15 数学B 3章 数列(等差数列と等比数列)			○	○	○	○			○			○
16 数学B 3章 数列(いろいろな数列)			○	○	○	○			○			○
17 数学B 3章 数列(漸化式と数学的帰納法)			○	○	○	○			○			○
18 数学Ⅱ 6章 微分法と積分法(微分係数と導関数)			○	○	○	○			○			○
19 数学Ⅱ 6章 微分法と積分法(関数の値の変化)			○	○	○	○			○			○
20 数学Ⅱ 6章 微分法と積分法(積分法)			○	○	○	○			○			○
21 数学ⅡBの基礎演習			○	○	○	○			○			○
22 数学ⅡBの応用演習			○	○	○	○			○			○
23 グループワーク				○	○	○	○	○	○		○	○
24 課題提出			○	○	○		○			○	○	○
25 考査と単元テスト			○	○				○	○	○		○
評価の観点	関心・意欲・態度		数学的な見方や考え方			数学的な技能			知識・理解			
	数学的活動を通して、各単元における考え方に関心をもつとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。		数学的活動を通して、各単元における数学的な見方や考え方を身につけて、事象を数学的に捉え、論理的に考察するとともに、過程を振り返り多面的・発展的に考察し、表現できる。			数学的活動を通して、各単元において、事象を数学的に考察し、処理する仕方や推論の技能を身につけ、的確に問題を解決できる。			数学的活動を通して、各単元における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身につけている。			
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。											
	関心・意欲・態度	授業での取組	課題への取組	定期考査	単元テスト	課題確認テスト	その他の資料					
	数学的な見方や考え方	○	○								○	
	数学的な技能	○	○	○	○	○					○	
	知識・理解	○	○	○	○	○	○				○	

学習指導計画					実施状況	
月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元実施	実施反省	
前 期	4(15) 数学Ⅱ 第1章 式と証明 (13) 5月上旬に単元テスト	数学Ⅱ 第1章のねらい 整式の乗法・除法および分数式の四則演算について理解できるようになるとともに、等式や不等式が成り立つことが証明できるようになる。	第1節 式と計算 (7) 第2節 等式と不等式の証明 (6)	4月		
	5(20) 数学Ⅱ 第2章 複素数と方程式 (12)	数学Ⅱ 第2章のねらい 方程式についての理解を深め、数の範囲を複素数まで拡張して2次方程式を解くこと及び因数分解を利用して高次方程式を解くことができるようになる。	第1節 複素数と2次方程式(8) 単元テスト (1) 第2節 高次方程式(4)	5月	前	
	6(23) 数学Ⅱ 第3章 図形と方程式 (24) 6月上旬前期中間考査	数学Ⅱ 第3章のねらい 座標や式を用いて、直線や円などの基本的な平面図形の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようになる。	第1節 点と直線 (10) 第2節 円 (8) 第3節 軌跡と領域 (6) 前期中間考査 (1) 進研模試	6月		期
	7(10) 数学B 第1章 平面上のベクトル (16) 夏休み前に単元テスト	数学B 第1章のねらい ベクトルの基本的な概念について理解し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようになる。	第1節 ベクトルとその演算 (9) 第2節 ベクトルと平面図形 (7) 単元テスト (1)	7月		
	8(11) 8月夏休み明け 課題確認試験	数学B 第2章のねらい ベクトルの基本的な概念について理解し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようになる。	第2章 空間ににおけるベクトル(10)	8月		
	9(20) 9月初旬前期期末考査 数学Ⅱ 第4章 三角関数 (18)	数学Ⅱ 第4章のねらい 角の概念を一般角まで拡張して、三角関数及び三角関数の加法定理について理解し、それらを事象の考察に活用できるようになる。	前期期末考査(2) 第1節 三角関数 (10) 第2節 加法定理 (8)	9月		
	10(17) 数学Ⅱ 第5章 指數関数・対数関数 (14) 10月下旬単元テスト	数学Ⅱ 第5章のねらい 指數関数及び対数関数について理解し、それらを事象の考察に活用できるようになる。	第1節 指數関数(6) 第2節 対数関数(8) 単元テスト (1) (見学旅行)	10月		
	11(20) 数学B 第3章 数列 (22) 11月下旬後期中間考査	数学B 第3章のねらい 簡単な数列とその和及び漸化式について理解し、それらを事象の考察に活用できるようになる。	第1節 等差数列と等比数列(10) (進研模試11月) 第2節 いろいろな数列 (6) 第3節 数学的帰納法 (6) 後期中間考査 (2)	11月	後	
	12(17) 数学Ⅱ 第6章 微分法と積分法 (26) 1月冬休み明け 課題確認試験	数学Ⅱ 第6章のねらい 微分・積分の考え方について理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようになる。	第1節 微分係数と導関数 (7) 第2節 関数の値の変化(8) 第3節 積分法(11) (進研模試1月) 節の分割なし(12) (大学入学共通テスト対応模試2月) 後期期末考査 (2) 節の分割なし(13)	12月		
期	1(10) 数学ⅡBの基礎演習 (12) 2月下旬後期期末考査	数学ⅡBの内容全体について、基礎事項の確認に取り組む。		1月		期
	3(13) 数学ⅡBの応用演習 (13)	数学ⅡBの内容全体について、共通テスト・2次試験等に対応できる実力養成のため、応用問題演習に取り組む。		2月		
				3月		

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース		教科担任								
理科	物理(前半)	3	2年次		藤島 譲								
使用教科書	東京書籍「物理」			使用副教材	数研出版「四訂版リードLightノート物理」								
科 目 の 目 標							道徳教育のねらい						
「物理基礎」の学習を踏まえて、物理的な事物・現象に対する関心や探究心を高め、目的意識をもって観察・実験などを行い、物理学的に探求する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。							科学的に探求する能力と態度と自然観を学び、それらを日常的に積極的に活用する態度を育てる。						
市函DP(本校で身に付けさせたい10の資質・能力)													
学習活動内容		基礎力	思考力	主体的学習力	傾聴力	自己理解・自己管理力	他者理解力	計画実行力	発信・表現力	ストレスコントロール力	実践力		
1 力のつり合いと合成・分解	○				○	○			○	○			
2 力のモーメント		○	○	○	○	○	○	○	○	○			
3 平面上の運動	○				○	○			○	○			
4 放物運動		○	○	○	○				○	○			
5 円運動		○	○	○	○				○	○			
6 慣性力		○	○	○	○	○	○	○	○	○			
7 万有引力		○	○	○	○	○			○	○			
8 単振動	○				○	○	○	○	○	○			
9 運動量保存の法則	○				○	○			○	○			
10 反発係数		○	○	○	○				○	○			
11 運動量と力積		○	○	○	○	○	○	○	○	○			
12 気体の性質		○	○	○	○	○			○	○			
13 気体分子の熱運動		○	○	○	○				○	○			
14 気体の状態変化		○	○	○	○				○	○			
15 热機関と熱力学第2法則		○	○	○	○				○	○			
16 波の表し方	○				○	○			○	○			
17 波の伝わり方	○				○	○			○	○			
18 音の性質	○				○	○			○	○			
19 ドップラー効果		○	○	○	○	○	○	○	○	○			
20 光の伝わり方		○	○	○	○	○			○	○			
21 光の回折と干渉		○	○	○	○	○	○	○	○	○			
22 レンズと鏡		○	○	○	○				○	○			
23 静電気	○				○	○			○	○			
24 電界(電場)		○	○	○	○				○	○			
25 電位		○	○	○	○				○	○			
26 電界の中の物体		○	○	○	○				○	○			
27 コンデンサー		○	○	○	○	○	○	○	○	○			
28 電流		○	○	○	○				○	○			
29													
30													
31													
32													
33													
34													
35													
36													
37													
38 グループワーク	○	○	○	○	○	◎		◎	○	○			
39 考査	○	○						○	○				
評価の観点	関心・意欲・態度		思考・判断			技能・表現		知識・理解					
	物理現象に対して、興味・関心を高めて、知的好奇心をもって問題を見いだし、主体的に解決する態度を養う。		自らが見付けた課題に対し、目的意識をもち、見通しをもって観察・実験などに取り組む態度を養う。			探究活動を通して、仮説・観察・実験、結果・考察、法則性の導出、発表から物理学的に探究する技能・表現を養う。		観察・実験などを通して得られた結果から、物理的な事象・現象の基本概念や原理・法則などの習った知識・理解を深める。					
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。												
	授業での取組		課題への取組		定期考査	単元テスト	小テスト	その他の資料					
	関心・意欲・態度	○	◎				○						
	思考・判断	◎		○	○				○				
	技能・表現	○		○	○				◎				
	知識・理解	○	○	◎	◎	○	○						

物理(前半) 授業計画

授業計画				実施状況	
月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前	4月 3 7 9 13 20 前期中間考査 22 28 32 7月 36	運動とエネルギーについての基礎的な見方や考え方に基づき、物体の運動を探求し、力と運動に関する概念や原理・法則などを系統的に理解する。 慣性力 万有引力 単振動 運動量保存の法則	運動とエネルギーについての基礎的な見方や考え方に基づき、物体の運動を探求し、力と運動に関する概念や原理・法則などを系統的に理解する。 慣性力 万有引力 単振動 運動量保存の法則	3 4 2 4 7 2 6 4 4	
	8月 38 41 9月 44 熱 47 前期期末考査 52		反発係数 運動量と力積 気体の性質 気体分子の熱運動 気体の状態変化	2 3 3 3 5	
	10月 55 57 波 62 64		熱機関と熱力学第2法則 波の表し方 波の伝わり方 音の性質 ドップラー効果 光の伝わり方 光の回折と干渉	3 2 5 2 5 4 5	
	11月 69 73 78 後期中間考査 12月 80		レンズと鏡 静電気	2 4	
	84 電気と磁気		電気や磁気に関する現象を探求し、電気と磁気に関する基本的な概念や法則を系統的に理解する。	25	
	1月 89 2月 93 97 3月 101 105		電界(電場) 電位 電界の中の物体 コンデンサー 電流	5 4 4 4 4	

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

化学基礎 授業計画

授業計画				実施状況	
月 (時数)	単元・考查等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前 期	4月 第1編 物質の構成 第1章 物質の構成	生活の中に化学についての再発見をし、化学の役割について理解を深める。物質の種類と性質について学び、化学を学ぶことに意欲を持つ。 物質が原子、イオン、分子から構成されていることを理解する。 構成粒子の違いと物質の種類の違いを理解する。	1 純物質と混合物 2 2 物質とその成分 3 3 物質の三態と熱運動 2 実験・探求活動 1 2 章のまとめ 1		
	5月 第2章 物質の構成粒子 第3章 粒子の結合	イオン生成を電子配置と関連づけて理解し、イオン結合およびイオン結合からなる物質の性質を理解する。 共有結合を電子配置と関連づけて理解し、分子からなる物質の性質を理解する。さらに、分子間の結合によって物質ができるることを理解する。 金属原子間の結合および金属からなる物質の性質を理解する。	1 原子とその構造 3 2 イオン 2 3 周期表 2 1 イオン結合 3 2 分子と共有結合 5 3 分子間にはたらく力 2 4 共有結合結晶 1 5 金属結合 1 実験・探求活動 2 章のまとめ 4		
	6月 第2編 物質の変化 第1章 物質量と化学反応式	原子量・分子量・式量などの物質量の基本事項を学ぶ。 物質量と溶液の濃度の関係を学ぶ。 化学反応式は化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを理解する。 化学の進歩の歴史と基本的な法則の発見の経緯について理解する。	1 原子量・分子量・式量 2 2 物質量 (mol) 2 3 化学反応式と物質量 3 実験・探求活動 3 3 章のまとめ 1		
	7月 第2章 酸と塩基の反応	水溶液の酸性・塩基性の強弱と水素イオン濃度との関係および、pHについて理解する。 酸と塩基の性質と、中和反応に関与する物質の量的関係を理解する。 中和滴定と滴定曲線により、中和反応を理解する。	1 酸と塩基 2 2 水の電離と水溶液のpH 2 3 中和反応 2 4 塩 2 実験・探求活動 4 3 章のまとめ 1		
	8月 第3章 酸化還元反応	酸化・還元の定義を理解し、酸化還元反応が電子の授受によることを理解する。 酸化剤と還元剤の反応と実用電池の形成の関係を理解する。 酸化還元反応と日常生活や社会生活との関わりについて理解する。	1 酸化と還元 3 2 酸化剤と還元剤 3 3 金属の酸化還元反応 2 4 酸化還元反応の利用 2 実験・探求活動 5 3 章のまとめ 1		
9月					

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任								
理科	化学基礎	2	2年次・文系	塩谷和樹・下村 薫・藤井隆徳								
使用教科書	化学基礎 改訂版(啓林館)		使用副教材	セレクト 化学基礎(数研出版)								
科 目 の 目 標			道徳教育のねらい									
物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成する。 (1) 日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。			自然の事物・現象を探究する活動を通して、地球の環境や生態系のバランスなどについて考えさせ、自然と人間との関わりについて認識させることで、生命を尊重し、自然科学の保全に寄与する態度の育成につなげる。見通しをもって観察、実験を行うことで、科学的に探究する力を育て、科学的に探究しようとする態度を養い、道徳的判断力や真理を大切にしようとする態度を育成する。									
学習活動内容			市函D P(本校で身に付けさせたい10の資質・能力)									
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
			基礎力	思考力	主体的 学習力	傾聴力	自己理解・ 自己管理力	他者 理解力	計画 実行力	発信・ 表現力	ストレス コントロール力	実践力
1 第一部 第1章 物質の構成	○											
2 第2章 物質の構成粒子	○	○										
3 第3章 化学結合	○	○	○									
4 第二部 第1章 物質量と化学反応式	○	○	○									
5 第2章 酸と塩基	○	○										
6 第3章 酸化還元反応	○	○										
7												
8												
9												
10 定期考査	◎	◎							○	○		◎
11 小テスト 単元テスト	◎	○								○		◎
12 課題提出(問題集)	○	○	◎			○		◎	△			○
13 課題提出(レポート等)	◎	○	◎			○		◎	◎			○
14 グループ活動 等	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	◎	◎	◎	◎
15 実験実習	△	◎	○	◎	○	○	○	◎	○	○	○	○
16												
17												
18												
19												
20												
評価の観点	関心・意欲・態度		思考・判断・表現		観察・実験の技能		知識・理解					
	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。		物質とその変化の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。		物質とその変化に関する観察、実験などをを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。		物質とその変化について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。					
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。											
	授業での取組	課題への取組	定期考査	単元テスト	課題確認テスト	その他の資料						
	○	○			○							
	○		○	○								
	○	○	○	○								
	○	○	○	○	○							

化学基礎 授業計画

授業計画				実施状況	
月 (時数)	単元・考查等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前期	4月 (4)	第一部 物質の構成 第1章 物質の構成 (9)	生活の中に化学についての再発見をし、化学の役割について理解を深める。物質の種類と性質について学び、化学を学ぶことに意欲を持つ。 物質が原子、イオン、分子から構成されていることを理解する。 構成粒子の違いと物質の種類の違いを理解する。	1 純物質と混合物 2 2 物質とその成分 3 3 粒子と熱運動と物質の三態 2 実験・探求活動1 章のまとめ 2	
	5月 (7)				
	6月 (8)			1 原子の構造と電子配置 3 2 イオン 2 3 元素の周期表 2	
	7月 (6)			1 イオン結合 3 2 共有結合 6 3 金属結合 2 4 物質の分類と融点 1 実験・探求活動2 章のまとめ 4	
	8月 (3)				
	9月 (11)				
後期	10月 (6)	第二部 物質の変化 第1章 物質量と化学反応式 (10)	原子量・分子量・式量などの物質量の基本事項を学ぶ。 物質量と溶液の濃度の関係を学ぶ。 化学反応式は化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを理解する。 化学の進歩の歴史と基本的な法則の発見の経緯について理解する。	1 原子量・分子量・式量 2 2 物質量 (mol) 2 3 化学反応式と化学変化の量的関係 3 実験・探求活動3 章のまとめ 3	
	11月 (5)			1 酸と塩基 2 2 水の電離とpH 2 3 酸・塩基の中和と塩 4 実験・探求活動4 章のまとめ 3	
	12月 (5)			1 酸化・還元 3 2 酸化剤と還元剤 3 3 金属の酸化還元反応 2 4 酸化還元反応と人間生活 2 実験・探求活動5 章のまとめ 3	
	1月 (3)				
	2月 (6)				
	3月 (5)				
	※ 考査 (4)			※定期考査 年4回 4	

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任											
理科	化学（前半）	2	2年次	小町金平・塩谷和樹											
使用教科書	改訂版 化学（数研出版）				使用副教材	リードLightノート化学（数研出版）									
科目の目標										道徳教育のねらい					
化学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を身につけるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を養う。										物質の多様性や、人間生活との関わりについて正しく理解することで、現代社会において生きる力を養うとともに、科学リテラシーを育む。					
市函D P（本校で身に付けさせたい10の資質・能力）															
学習活動内容		1 基礎力	2 思考力	3 主体的 学習力	4 傾聴力	5 自己理解・ 自己管理力	6 他者 理解力	7 計画 実行力	8 発信・ 表現力	9 ストレス コントロール力	10 実践力				
1 物質の変化と平衡		○	○					○							
2 無機物質		○	○					○							
3 有機化合物		○	○	○			○				○				
4 高分子化合物		○	○								○				
5 グループワーク				○	○	○	○		○	○					
6 考査		○				○		○			○				
評価の観点		関心・意欲・態度	思考・判断			技能	知識・理解								
		化学の事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的态度を身に付けています。	化学の事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。			観察、実験の基本操作を習得し、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けています。	化学の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けています。								
評価の方法		次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。													
		授業での取組	課題への取組	定期考査	単元テスト	その他の資料									
		○	○	○	○	○									
		○	○	○	○	○									
		○	○	○	○	○									
		○	○	○	○	○									

化学（前半） 授業計画

授業計画				実施状況	
月 (時数)	単元・考查等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
後 期	10 第1編 物質の状態 第1章 粒子の結合と結晶	化学結合とそれぞれの性質、及び結晶構造を理解する。	粒子の結びつきと結晶 結晶の構造 アモルファス（非晶質）	1 4 3	
	11 第2章 物質の状態変化 第3章 気体	状態変化に伴うエネルギーの出入りを学び、物質の沸点、融点を分子間力や化学結合と関連付けて理解する。 気体の体積の変化・気体の体積と圧力や温度との関係を理解する。	状態変化 気液平衡と蒸気圧 気体の体積の変化 気体の状態方程式	2 4 2 6	
	12 第4章 溶液 後期中間考查	溶解の仕組みを理解する。また、溶解度を溶解平衡と関連付けて理解する。	溶解平衡と溶解度 希薄溶液の性質 コロイド	4 2 4	
	第2部 物質の変化 第1章 化学反応とエネルギー	化学反応における熱の発生や吸収は、反応の前後ににおける物質のもつ化学エネルギーの差であることを理解する。	反応熱と熱化学方程式 ヘスの法則 化学反応と光	2 3 3	
	1 第2章 電池と電気分解 第3章 化学反応の速さとしくみ	電池は、酸化還元反応によって電気エネルギーを取り出す仕組みであることを理解する。	電池 電気分解	3 6	
	2 第4章 化学平衡 後期期末考查	反応速度の表し方及び反応速度に影響を与える要因を理解する。 可逆反応、化学平衡及び化学平衡の移動を理解する。	反応の速さ 化学反応と触媒 化学平衡とその移動 電離平衡	4 5 6 6	

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

生物（前半） 授業計画

授業計画				実施状況		
月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省	
前期	4 5	第1章 細胞と分子 (15)	まず、細胞を構成する物質について学習する。特に、タンパク質については、基本的な構造を学習したうえで、酵素など、その立体構造と生命活動において果たすはたらきとの関連を理解させる。次に、細胞小器官など、細胞の内部構造とそのはたらきについて学習する。生体膜や細胞骨格については、その構造や機能を学習する。これらの学習を通じて、細胞活動においてさまざまなタンパク質がさまざまな生命現象を支えていることを理解する。	1 生体を構成する物質 2 タンパク質の構造と性質 3 酵素のはたらき 4 細胞の構造 5 物質輸送とタンパク質 実験 酵素実験（内容未定） 6 情報伝達・認識とタンパク質 7 植物の発生	3 2 2 2 2 1 3	
	6 7		「生物基礎」で概要を学習した呼吸・光合成について、その詳細なしくみを理解する。呼吸においては、各過程の反応を学習し、その際、有機物が分解され、ATPが合成されることを理解する。光合成においては、各過程の反応を学習し、その際、光エネルギーが化学エネルギーに変換されることを理解する。また、窒素同化の概要についても理解する。	1 代謝とエネルギー 2 呼吸と発酵 3 光合成 4 窒素同化 実験 2 光合成（内容未定） 5 単元のまとめ	4 4 4 4 1 3	
8 9 10	第3章 遺伝情報の発現 (25)	「生物基礎」で学習したDNAの構造・複製・タンパク質合成について、その詳細なしくみを理解する。その際、遺伝情報の変化についても学習する。次に、遺伝子の発現調節の概要を、転写レベルの調節を中心に学習する。さらに、遺伝子を扱ったバイオテクノロジーについて学習し、その原理と有用性を理解する。	1 DNAの構造と複製 2 遺伝情報の発現 3 遺伝子の発現調節 4 バイオテクノロジー 探求活動 バイオテクノロジー	4 4 4 4 2		
			5 単元のまとめ	7		
11 12	第4章 生殖と発生 (25)	染色体に遺伝子が存在することを学習したうえで、有性生殖では、減数分裂と受精によって多様な遺伝子の組み合わせが生じることを理解する。次に、動物の配偶子形成・受精と初期発生の過程を学習する。また、細胞の分化や形態形成のしくみについて、誘導現象を中心に理解する。前後軸形成のしくみと形態形成を調節する遺伝子について学習する。植物の配偶子形成・受精と胚発生の過程を学習し、器官分化における遺伝子のはたらきについて理解する。	1 遺伝子と染色体 2 減数分裂と遺伝情報の分配 3 遺伝子の多様な組み合わせ 4 動物の配偶子形成と受精 5 初期発生の過程 6 細胞の分化と形態形成 7 植物の配偶子形成と発生 実験 3 植物の発生 8 単元のまとめ	4 4 4 4 2 2 2 2 2		
			実験 3 植物の発生 8 単元のまとめ	2 1		
1 2 3	第5章 動物の反応と行 (20)	まず、ニューロン（神経細胞）の基本的な構造とそのはたらきを理解する。次に、受容器で受け取られた刺激（情報）が、神経系を介して、効果器へと至る経路を学習する。その際、刺激の受容に関しては視覚器と聴覚器を中心取り上げ、効果器に関して筋肉を中心取り上げる。動物の行動については、神経系における情報の流れと関連づけながら扱う。	1 ニューロンとその興奮 2 刺激の受容 3 情報の統合 4 刺激への反応 5 動物の行動 実験 4 視覚の実験 実験 5 いろいろな感覚 6 単元のまとめ	2 2 2 4 2 1 1 6		
			実験 4 視覚の実験 実験 5 いろいろな感覚 6 単元のまとめ	1 1 6		

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース		教科担任											
理科	地学基礎	2	2年次		下村 薫											
使用教科書	改訂高等学校地学基礎（第一学習社）				使用副教材	改訂版リードLightノート地学基礎（数研出版） ニューステージ新地学図表（浜島書店）										
科目の目標							道徳教育のねらい									
日常生活や社会との関連を囲りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、地学的に探究する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。							日本列島の置かれている状況を理解させ、自他の命を守る判断、態度等を常に意識させる。また地球環境に思いを寄せ、身近な部分から環境を保全しようとする態度を育成する。									
市函DP（本校で身に付けさせたい10の資質・能力）																
学習活動内容		1 基礎力	2 思考力	3 主体的 学習力	4 傾聴力	5 自己理 解・自己 管理力	6 他者 理解力	7 計画 実行力	8 発信・ 表現力	9 ストレス コントロール力	10 実践力					
1 宇宙における地球		○	○													
2 活動する地球		○														
3 移り変わる地球		○		○												
4 大気と海洋		○		○												
5 地球の環境		○		○			○			○						
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
16																
17																
18 グループワーク			○	○	○	○		◎	○	○						
19 課題提出			○	◎		○		○	◎	○						
20 考査		◎	○				○	◎								
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現			観察・実験の技能			知識・理解								
	地学的な事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探求するとともに、科学的态度を身に付けています。	地学的な事物・現象の中に問題を見出し、事象を、分析的・総合的に考察し、問題を解決するとともに、事実にもとづいて科学的に判断したことを言語活動を通じて表現する。			事物・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身につけ、そこから導き出した自らの考えを的確に表現する。			観察、実験などを通して地学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けています。								
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。				授業での取組	課題への取組	定期考査	単元テスト	課題確認テスト	その他の資料						
	関心・意欲・態度	○	◎					○								
	思考・判断・表現	◎			○		○			○						
	観察・実験の技能	○			○		○			◎						
	知識・理解	○	○	◎	◎		○									

地学基礎 授業計画

授業計画					実施状況	
	月 (時数)	単元・考查等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前期	4 (5) 5 (9)	第1章 宇宙における地球 1節 宇宙の構成	①銀河系の構造について ②宇宙の構造や進化について ③恒星としての太陽の姿について	宇宙の始まり 銀河の分布 太陽の構造 太陽の組成 太陽の進化 太陽系の誕生と構造 地球型惑星と木星型惑星 惑星、衛星以外の天体	1 1 1 1 1 2 4 1	12
		2節 太陽	①太陽系の天体の特徴について ②太陽系の誕生と進化について ③太陽活動の日常生活への影響について	①太陽系の天体の特徴について ②太陽系の誕生と進化について ③太陽活動の日常生活への影響について	2	
		3節 太陽系の中の地球 <前期中間考查>(1)	①太陽系の天体の特徴について ②太陽系の誕生と進化について ③太陽活動の日常生活への影響について	①太陽系の天体の特徴について ②太陽系の誕生と進化について ③太陽活動の日常生活への影響について	2	
	6 (8) 7 (4) 8 (4) 9 (3)	第2章 活動する地球 1節 地球の姿	①地球の形や大きさについて ②地球内部の層構造について ③内部の状態や構成物質について ④プレート運動と造山運動	地球の形、大きさ、その測定法 地球の内部構造と構成物質 プレート運動と造山運動	2 2 2	21
		2節 火山活動と地震	①プレート運動と火山、地震について ②地震の起こる仕組みについて ③地震波の性質と震源距離について ④マグマの性質と火山活動について	火山の分布、火山地形 火成岩の種類 火山噴火と火成岩 地震発生の仕組み 地震の分布 地震の動き、震源	2 3 1 3 2 3	
		<前期期末考查>(1)				
後期	9 (3) 10 (7) 11 (7) 12 (3)	第3章 移り変わる地球 1節 地層や岩石と地質構造	①地表変化と地層形成の仕組みについて ②岩石の種類とその性質について ③地層から過去の地球の動きを読み解く	地層形成 地層と堆積構造 堆積岩 地殻変動 变成岩 化石 地層の対比 地質時代区分 各地質時代について 先カンブリア代 古生代 中生代 新生代	1 1 1 2 1 1 1 1 6	16
		2節 地球環境と生物界の変遷	①多様な生物への進化と環境について	①多様な生物への進化と環境について	2	
		<後期中間考查>(1)				
		第4章 大気と海洋 1節 地球の熱収支	①地球の熱収支と温室効果について	大気圏の構造とその特徴 太陽放射と地球放射	2	10
		2節 大気と海洋の運動	②大気の大循環と熱収支の関係について ③海洋の層構造や海流について	地球の大循環 海洋の構造と大循環 緯度によるエネルギー収支	2 2 1	
	12 (2) 1 (5) 2 (6)	第5章 地球の環境 1節 地球環境の科学	①自然災害や防災について	地球環境の変化について エルニーニョとラニーニャ	3 1	11
		2節 日本の自然環境	②四季の気象の特徴と日常生活について ③地球環境について今、自分に何ができるか	日本の気象 災害と防災	3 3	
		<学年末考查>(1)				

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科 担任						
保健体育	体育	3	2年男子	猪股 整						
使用教科書	現代保健体育（大修館）		使用副教材							
科目的目標				道徳教育のねらい						
健康や体力について合理的に実践し、運動技能を高めるとともに、それらの経験を通して、公正・協力・責任などの態度を育て、強健な心身の発達を促して生涯を通して継続的に運動を実践できる能力と態度を育てる。				集団行動や授業準備、実技において、協力や思いやり、安全指導などを通じて道徳心を育てる。						
学習活動内容	市函DP(本校で身に付けさせたい10の資質・能力)									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	基礎力	思考力	主体的 学習力	傾聴力	自己理解 自己管理力	他者 理解力	計画 実行力	発信 表現力	ストレス コントロール力	実践力
1 体づくり運動・体力測定	0	0			0		0			
2 体育理論	0	0		0		0		0		
3 選択種目Ⅰ(バレー・バスケット)	0	0	0			0	0	0		0
4 陸上競技(三段跳び)	0	0	0	0			0			0
5 ソフトボール	0	0	0			0	0	0		0
6 選択球技(バレー・ソフト・サッカー)	0		0			0	0	0		0
7 サッカー	0	0	0							0
8 柔道		0			0	0		0	0	
9 バドミントン	0	0	0							0
10 選択Ⅱ(男女混合)	0	0	0		0	0		0		
11										
12										
評価の観点	主体的に学習に取り組む態度		思考力・判断力・表現力等		知識及び技能					
	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正・協力・責任・参画などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。		生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。		運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防の展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。また、選択した運動の技能(技)の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方について具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。					
評価の方法	授業の準備・後片付けなどへの協力姿勢、意欲的な取組・グループでの協力姿勢を評価		授業における練習の取組方、ワークシートでの評価		各種目における実技テスト、記録・発表会での評価、ペーパーテストによる評価					

2年男子体育 授業計画

授業計画				実施状況	
月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前期	4・5月	体づくり運動・スポーツテスト(10)	・授業オリエンテーション、集団行動・集団づくり、補強運動、スポーツテストを実施し自らの体力への理解を深め今後の授業にいかす。	・オリエンテーション(1) ・体づくり運動・スポーツテスト(9)・・・「体ほぐし運動」と「体力を高める運動」を通じて、心と体の状態を把握し仲間とともに運動に親しむための基礎を養う。	
	5月 6月 7月	体育理論(3)	・運動・スポーツの学び方を学習し、運動をより合理的に実践する資質を養う。	・スポーツの技術と戦術 ・技能の上達過程と練習 ・効果的な動きのメカニズム (各1h)	
	5月 6月	選択Ⅰ(13)	・「バレーボール」、「バスケットボール」から選択し実施する。技術向上、または仲間との連携を高め、工夫した取り組みを実践する。選択した種目により高い技術や戦術を身につけ競技への理解を深める。	・班編制、練習計画の作成(1) ・グループ練習の取り組み(6) ・ゲーム形式、スキルテスト(6)	
	6月 7月	陸上競技(6)	・三段飛びの技術習得の練習を実施し、記録を測定する。跳躍動作について理解を深める。	・基本的な練習と理解(3) ・記録測定と技術的修正(3)	
	8月 9月	ソフトボール(13)	・基本技術の練習(捕球・送球・打球)と技術向上をはかるとともに、グループ学習・チーム作りに取組、試合に則したより実践的な力を身につける。試合では互いに協力する姿勢を養う。	・基本技術習得のための練習(2) ・グループでの活動(11)	
	9月	選択種目Ⅰ(6)	・球技大会で実施する。「バレー」、「ソフト」「サッカー」から種目を選択し、技術向上、または仲間との連携を高め、工夫した取り組みを実践する。	・球技大会種目の練習(6)	
後期	10月 11月	サッカー(10)	・基本技術の習得(ドリブル、パス、シュートなど)のための練習を行い、ゲーム形式を実施する。技能向上を目指す姿勢と仲間との協力する姿勢を養う。	・基本技術習得のための練習(2) ・グループ技能を高める練習(2) ・ゲーム形式(6)	
	10月 11月 12月	体育理論(3)	・運動・スポーツの学び方を学習し、運動をより合理的に実践する資質を養う。	・技能と体力 ・体力トレーニング ・運動やスポーツでの安全確保 (各1h)	
	11月	柔道Ⅱ(10)	・柔道を実施する。礼法・受け身・寝技・立ち技の習得をめざし、練習を通して基本的な技を身につける。柔道の授業では通常の授業と異なり「礼法」を重んじしっかりとした意識で取り組むことを学ぶ。	・礼法、受け身、寝技などの基本技術習得のための復習練習(1) ・立技の習得(4) ・連絡技の習得(3) ・実技テスト(2)	
	11月 12月	バドミントン(10)	・シングルスのルールでの実施。基本技術の習得とともに、競技のルールなどを理解し、試合形式で実践力を身につける。	・基本技術の練習(3) ・実践的な練習(5) ・試合形式(7)	
	1月 2月 3月	選択種目Ⅱ男女混合(15)	・「卓球」「ソフトバレー」から1種目を選択し実施する。選択した種目のより高い技術や戦術を身につけ競技への理解を深める。	・基本技術習得のための練習(3) ・グループ技能を高める練習(3) ・ゲーム形式(9)	

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科 担任						
保健体育	体育	3	2年女子	石郷岡純一・磯部尚志・藤井 守						
使用教科書	現代保健体育（大修館）		使用副教材							
科目的目標					道徳教育のねらい					
健康や体力について合理的に実践し、運動技能を高めるとともに、それらの経験を通して、公正・協力・責任などの態度を育て、強健な心身の発達を促して生涯を通して継続的に運動を実践できる能力と態度を育てる。					集団行動や授業準備、実技において、協力や思いやり、安全指導などを通じて道徳心を育てる。					
学習活動内容	市函DP(本校で身に付けさせたい10の資質・能力)									
	1 基礎力	2 思考力	3 主体的学習力	4 倾聴力	5 自己理解 自己管理力	6 他者理解力	7 計画実行力	8 発信表現力	9 ストレスコントロール力	10 実践力
1 体づくり運動・体力測定	0	0			0		0			
2 体育理論	0	0		0		0		0		
3 陸上競技(短距離・走幅跳び)	0	0	0	0			0			0
4 テニス	0	0	0							0
5 選択種目Ⅰ(バレー・バスケット)	0	0	0			0	0	0		0
6 選択球技(バレー・ソフト)	0		0			0	0	0		0
7 バドミントン	0	0	0							0
8 ダンスⅡ	0	0	0	0		0	0	0		
9 選択Ⅱ(男女混合)	0	0	0		0	0		0		
10										
11										
12										
評価の観点	主体的に学習に取り組む態度		思考力・判断力・表現力等		知識及び技能					
	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。		生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。		運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防の展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。また、選択した運動の技能(技)の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方について具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。					
評価の方法	授業の準備・後片付けなどへの協力姿勢、意欲的な取組・グループでの協力姿勢を評価		授業における練習の取組方、ワークシートでの評価		各種目における実技テスト、記録・発表会での評価、ペーパーテストによる評価					

2年女子体育 授業計画

授業計画				実施状況		
	月 (時数)	単元・考査等 (配置時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前期	4・5月	体つくり運動・スポーツテスト (10)	・授業オリエンテーション、集団行動、集団づくり、補強運動、スポーツテストを実施し自らの体力への理解を深め今後の授業にいかす。	・オリエンテーション(1) ・体つくり運動・スポーツテスト(9)・・・「体ほぐし運動」と「体力を高める運動」を通じて、心と体の状態を把握し仲間とともに運動に親しむための基礎を養う。		
	5月 6月 7月	体育理論(3)	・運動・スポーツの学び方を学習し、運動をより合理的に実践する資質を養う。	・スポーツの技術と戦術 ・技能の上達過程と練習 ・効果的な動きのメカニズム (各1h)		
	5月	陸上競技(6)	・短距離走、走幅跳びの技術習得の練習を実施し、記録を測定する。走る、跳躍動作について理解を深める。	・基本的な練習と理解(3) ・記録測定と技術的修正(3)		
	6月 7月	テニス(13)	・基本技術の練習(サーブ・ラリー・ボレーなど)と技術向上をはかり試合ができるすること目標にする。試合を通して競技ルールを理解する。	・基本技術習得のための練習(6) ・試合形式(7)		
	7月 8月 9月	選択Ⅰ(13)	・「バレーボール」、「バスケットボール」から選択し実施する。技術向上、または仲間との連携を高め、工夫した取り組みを実践する。選択した種目により高い技術や戦術を身につける競技への理解を深める。	・班編制、練習計画の作成(1) ・グループ練習の取り組み(6) ・ゲーム形式、スキルテスト(6)		
	9月	選択種目Ⅰ(6)	・球技大会で実施する。「バレー」、「ソフト」から種目を選択し、技術向上、または仲間との連携を高め、工夫した取り組みを実践する。	・球技大会種目の練習(6)		
	10月 11月	バドミントン(15)	・シングルスのルールでの実施。基本技術の習得とともに、競技のルールなどを理解し、試合形式で実践力を身につける。	・基本技術の練習(3) ・実践的な練習(5) ・試合形式(7)		
	10月 11月 12月	体育理論(3)	・運動・スポーツの学び方を学習し、運動をより合理的に実践する資質を養う。	・技能と体力 ・体力トレーニング ・運動やスポーツでの安全確保 (各1h)		
	11月 12月	ダンスⅡ(15)	・グループでダンスを創作、練習し発表する。 ・発表会を通して、自分の演技と他の者の演技を比較し互いに評価する。 ・グループ活動での積極的な取り組み、協調性と表現力を養う。	・ダンスの創作活動(13) ・ダンス発表(1) ・振り返り学習(1)		
後期	1月 2月 3月	選択種目Ⅱ男女混合(15)	・「卓球」「ソフトバレー」から1種目を選択し実施する。選択した種目により高い技術や戦術を身につける競技への理解を深める。	・基本技術習得のための練習(3) ・グループ技能を高める練習(3) ・ゲーム形式(9)		

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科 担任						
保健体育	保健	1	2年次	石郷岡純一・猪股 整・藤井 守						
使用教科書	現代保健体育（大修館）		使用副教材	現代高等保健体育ノート（大修館）						
科目的目標				道徳教育のねらい						
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を身につけます。				健康的な生活習慣の確立や交通規範の向上、応急手当の実践から自らの安全だけではなく、他者への思いやりや他者との適切な関わりについて考えさせる。						
学習活動内容	市函DP（本校で身に付けさせたい10の資質・能力）									
	1 基礎力	2 思考力	3 主体的学習力	4 倾聴力	5 自己理解 自己管理力	6 他者理解力	7 計画実行力	8 発信表現力	9 ストレスコントロール力	10 実践力
1 1 思春期と健康	0	0				0				
1 2 性意識と性行動の選択	0	0				0				
1 3 結婚生活と健康	0	0					0			
1 4 妊娠・出産と健康	0							0		
1 5 家族計画と人工妊娠中絶	0	0	0	0	0					0
2 6 加齢と健康	0	0					0			
2 7 高齢者のための社会的取組	0							0		
2 8 保健制度とその活用	0	0	0	0	0					0
2 9 医療制度とその活用	0	0		0						
2 10 医薬品と健康	0									
2 11 さまざまな保健活動や対策	0	0	0							
3 1 大気汚染と健康	0			0						
3 2 水質汚濁、土壤汚染と健康	0			0						
3 3 健康被害の防止と環境対策	0									
3 4 環境衛生活動のしくみと働き	0	0	0							
3 5 食品衛生活動のしくみ	0			0						
3 6 食品と環境の保健と私たち	0	0								
3 7 働くことと健康	0		0							
3 8 労働災害と健康	0			0						
3 9 健康的な職業生活	0	0								
評価の観点	主体的に学習に取り組む態度			思考力・判断力・表現力等			知識及び技能			
	現代社会と健康について関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとする。			現代社会と健康について、課題の解決を目指して総合的に考え、判断し、それらを表している。			現代社会と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。			
評価の方法	授業態度・ノートや提出物 ・参加する姿勢で評価			授業でのグループ討議・発表、提出物で評価			単元テストや小テストで評価、調べ学習レポート			

2年保健 授業計画

学習指導計画					実施状況	
月 (時数)	単元・考查等 (配置時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省	
前期	4月	・オリエンテーション 「生涯を通じる健康」				
	5月	1、思春期と健康 2、性意識と性行動の選択	・性教育を通じて、健全な性に関する知識と理解を深め、より健康的な生活を送れる資質と能力を養う。	①第1ブロック 1、2、3、4、5、		
	6月	3、結婚生活と健康 4、妊娠・出産と健康		②第2ブロック 6、7、8、9、10、		
	7月	5、家族計画と人工妊娠中絶 6、加齢と健康		11		
	8月	7、高齢者のための社会的取り組み	・ライフステージにおける健康問題について知識と高め、自らの人生設計に取り入れるとともに、保健制度について理解を深め、より健康的な生活を送るための知識、問題意識を養う。	※各ブロックで小テスト、調べ学習を実施する。	前 期	
	9月	8、保健制度とその活用 9、医療制度とその活用 10、医薬品と健康 11、さまざまな保健活動や対策				
	10月	【範囲】 「社会生活と健康」	・環境問題に関する知識を深め、問題点や課題を理解し、自らのだけでなく地域・社会の健康のために必要な要素を学ぶ。	③第3ブロック 1、2、3、4、		
	11月	1、大気汚染と健康 2、水質汚濁・土壤汚染と健康		④第4ブロック 5、6、7、8、9		
	12月	3、健康被害の防止と環境対策 4、環境衛生活動のしくみと動き	・将来に向けて、働くことと健康についてより実践的で具体的な項目について学び、より健康を重視したライフスタイル確立のための資質や能力を養う。	※各ブロックで小テストや調べ学習		
	1月	5、食品衛生活動のしくみと働き 6、食品と環境の保健と私たち		★1年間の通じた内容から深く調べるテーマを設定し「調べ学習」を実施する。		
後期	2月	7、働くことと健康 8、労働災害と健康				
	3月	9、健康的な職業生活 ★調べ学習の取組	★グループ学習において自分達で課題を設定し、それについて調べ、その内容を授業形式で他の生徒が理解できるように発表する。 ↓ 探究とプレゼン力を高める活動を重視する。		後 期	

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任											
音楽	音楽II	2	2年次	成田 良太											
使用教科書	教育出版 音楽II 改訂版Tutti				使用副教材	啓隆社 Music Note 教育出版 New Recorder Library									
科 目 の 目 標										道徳教育のねらい					
音楽Iの活動をふまえて、より感性を高め音楽文化についての理解を深め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばす。										音楽経験をとおして、深い美的情操と豊かな人間性を養い、円満な人格の発達をはかり、社会人としての教養を高める。					
市函D P (本校で身に付けさせたい10の資質・能力)															
学習活動内容		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10				
		基礎力	思考力	主体的学習力	傾聴力	自己理解・自己管理力	他者理解力	計画実行力	発信・表現力	ストレスコントロール力	実践力				
		○		○					○						
		○		○					○						
		○	○		○										
		○	○												
18 グループワーク			○	○	○	○	◎		○	○	○				
19 課題提出			○	○		○		○		○	○				
20 実技テスト		○	○					○	○						
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断			技能・表現			知識・理解							
	・個性豊かで意欲的・主体的に音楽活動を行っているか。 ・音楽活動の喜びを味わおうとしているか。	・感性を働かせて、音楽の諸要素を知覚しているか。 ・個性豊かで創造的な音楽活動の工夫をしているか。			・個性豊かに表現するための技能を身に付けているか。 ・創造的な表現をするための技能を身に付けているか。			・多様な音楽や音楽文化に対して理解を深めているか。 ・多様な音楽や音楽文化のよさや美しさを主体的に味わっているか。							
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。														
	授業での取組	歌唱実技テスト	器楽実技テスト	ミュージックノート	単元テスト	鑑賞レポート									
	関心・意欲・態度	○													
	思考・判断	○	○	○											
	技能・表現	○	○	○							○				
	知識・理解	○			○		○	○	○	○	○				

音楽Ⅱ 授業計画

授業計画				実施状況		
	月 (時数)	単元・考查等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前期	4月	歌唱	歌に込められたメッセージを理解し表現する。	「見上げてご覧夜の星を」(10) 「愛の讃歌」 「枯葉」 「Moon River」 ソルフェージュ「コールユーブンゲン」 「キャッツ」(5)	10	
	5月				5	
	6月	鑑賞	オペラ、バレエ、ミュージカルに関心もつ。西洋の音楽劇について、歌唱と鑑賞を通じて総合的に理解する。			
	7月	器楽	グループによる楽器のアンサンブルを通じて総合的な音楽学習を行う。	リコーダー四重奏(15) 「インスブルックよさようなら」 「私のいい人」 「水上の音楽」	15	
	9月	鑑賞	古典派の音楽の特徴をとらえそのよさ味わう。	「モーツアルト交響曲第40番」(5) 「アマデウス」(5)	10	
後期	10月	歌唱	日本歌曲の特徴を知りそのよさを味わう。	「落葉松」(5) 「小さな空」(4)	15	
	11月	日本の歌 混声四部合唱	声のアンサンブルに主体的に取り組む。	「はたるこい・聖者の行進」(6)		
	12月	器楽	出来上がったアンサンブルをイメージして練習に取り組む。	ギターアンサンブル	8	
	1月					
	2月	鑑賞		・ラフマニノフ ピアノ協奏曲第2番(2)	7	
	2月	総合能力	1年間のまとめとして、楽器のアンサンブル発表を行い、相互評価、自己評価を行う。	自由課題研究演奏(5)		
	3月					

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース		教科担任							
芸術	美術II	2	2年次		石川絵里子							
使用教科書	日本文教出版	高校生の美術2	使用副教材		なし							
科目の目標								道徳教育のねらい				
美術Iでの学習内容を踏まえ、感性を一層豊かにし、美術を愛好する心情を育て、生涯にわたり美術を学び親しむための基礎を養う。								芸術を愛好し、美を探求する過程で、自然への感謝と生物に対する尊敬の念を持ち、他を思いやる心を育てる。				
市函D P (本校で身に付けさせたい10の資質・能力)												
学習活動内容		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
基礎力	思考力	主体的学習力	傾聴力	自己理解・自己管理力	他者理解力	計画実行力	発信・表現力	ストレスコントロール力	実践力			
1導入・オリエンテーション		○	◎	○				○				
2油彩画(静物画)	○	○	○	○	○	○	○	○				
3油彩画(人物画)	◎	○	○	○	○	○	○	○	◎			
4油彩画(小作品)	◎	○	○	○	○	○	○	○				
5美術館鑑賞	○	○	○	○	○			○				
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
評価の観点	関心・意欲・態度		思考・判断		技能・表現		知識・理解					
	美術の文化を理解し、意欲的に、主体的に授業に取り組んでいるか		感性や想像力を働かせて主題を生成し、創造的な表現の構想を練っているか		創造的な表現に必要な技能を身につけ、表現方法を工夫して表しているか		美術や美術文化を幅広く理解し、そのよさや美しさを創造的に味わうことができるか					
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。											
	授業での取組		作品		発表		鑑賞					
	関心・意欲・態度		○		◎		○					
	思考・判断		◎		◎							
	技能・表現		○		○							
知識・理解		◎		○		○						

美術Ⅱ 授業計画

授業計画				実施状況	
月 (時数)	単元・考查等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施時数	実施反省
前期	4月 導入・オリエンテーション 油彩画（静物画）	<ul style="list-style-type: none"> ・油彩画についての基本的な知識を習得し、これから制作に対する意欲を高める ・身近なモチーフを油絵の具という画材を用いて、対象物の美しさを感じ取り、それを絵画として表現することによってより奥深い世界を味わう 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント、教科書による解説 ・油彩画材の使用法についての解説（4） ・果物やガラス瓶などのモチーフを用い、キャンバスの比率を計算して下書きする（24） ・キャンバスと原画を分割して模写する ・油絵具で彩色する ・作品の講評 	4	
	8月 美術館鑑賞 (会期に合わせて挿入)	<ul style="list-style-type: none"> ・本物の絵画や彫刻に触れ、そのよさを知るとともに美術を愛する心情を育てる 	<ul style="list-style-type: none"> ・函館美術館を訪問し、学芸員の方からの解説を受け、作品を鑑賞する（2） 	2	
	9月 油彩画（自画像）	<ul style="list-style-type: none"> ・鏡を通して見る自分を観察し油彩画として表現する ・画家のタッチを参考にし、重厚な表現を出せるように意識する 	<ul style="list-style-type: none"> ・鏡を見ながら鉛筆デッサンをする ・参考となる画家のタッチや表現を研究し、それらをもとに自画像を制作する（5） 	5	
後期	10月～1月 油彩画（自画像）続き	・前期と同様	<ul style="list-style-type: none"> ・完成度を高めるための技法や表現を学び、作品を仕上げる（25） 	25	
	2月～3月 油彩画（小作品の制作）	<ul style="list-style-type: none"> ・小さいキャンバスに自由な空想画を制作する ・油絵の具の特性（マチエル）を活かした作品作りを学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の中の世界をイメージし、抽象的な表現を学び、油彩画の技法を用いてそれを表現する ・鑑賞を通して互いの世界観を認め、感性を豊かにする 	10	

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

書道Ⅱ 授業計画

授業計画				実施状況	
月 (時 数)	単元・考查等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前 期	4月 5月	篆刻	篆刻	篆刻基本(2) デザイン(2) 布字(1) 彫り(5)	10
	6月	楷書	自由課題	各自選択法帖基礎(3) 時代背景・書法・用筆(3)	15
	7月			作品制作(8) 批評会(選別・批評)(1)	
	8月	行草書	連綿行草書(東晋・唐)	各自選択法帖基礎(3) 時代背景・書法・用筆(3)	15
	9月			作品制作(8) 批評会(選別・批評)(1)	
後 期	10月	篆書	自由課題	各自選択法帖基礎(3) 時代背景・書法・用筆(3) 作品制作(8) 批評会(選別・批評)(1)	15
	11月				
	12月				
	1月	漢字かな交じりの書	近代詩文書	漢字かな交じり書基本(3) 撰文・構成・草稿(3) 作品制作(8) 批評会(選別・批評)(1)	15
	2月				
	3月				

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース		教科担任										
外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	4	2年次		河原井 規子・塩村 亮・石橋 拓 内村 歓子・峠 光										
使用教科書	Revised LANDMARK English Communication II				使用副教材	Revised LANDMARK English Communication II ワークブック 夢をかなえる英単語 新ユメタン1 (アルク)									
科目の目標								道德教育のねらい							
英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。								①言語活動を通じ人間との関わりを築き互いの立場や考えを尊重しながら伝え合う力やコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 ②各単元の題材を通じ、世の中の様々な事象に关心を持ち、積極的に関わる姿勢を養う。							
市函DP(本校で身に付けさせたい10の資質・能力)															
学習活動内容		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10				
1 First Reading		◎		○											
2 各パートの理解とリテリング			◎			○									
3 Post Reading		◎			○	○									
4 Output					○	○		◎							
5 Comprehension 及び Exercises	◎														
6 課題提出							○								
7 考査	◎						○								
評価の観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力			外国語理解の能力		言語や文化についての知識・理解								
	意欲的に授業に臨み、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているか。	テーマについて自分の考え方や意見を英語で話したり書いたりして、表現できるか。			英文を聞いたり読んだりすることで、主題や要点を把握したり、他人の考え方や意見を英語で理解することが出来るか。		文法や語彙、発音等に関する知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解できたか。								
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。														
		授業でのコミュニケーション活動	課題への取組	定期考査	パフォーマンステスト	課題確認テスト									
	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	◎	○	○	○										
	外国語表現の能力	○	○	○	◎										
	外国語理解の能力	○		◎		○									
	言語や文化についての知識・理解			○		◎									

コミュニケーション英語Ⅱ 授業計画

授業計画				実施状況	
月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前期	4 (13)	オリエンテーション(1) Lesson 1 I'm the Strongest! (12)	<題材>車イステニスを通じて、努力を重ねることの大切さを知る。 <文法>繰り返しを避けるための省略、過去完了進行形について理解する。	オリエンテーション(1) First Reading (1) 各パートの理解とリテリィング (6) Post-Reading (2) Output (2) Comprehension 及び Exercises (1)	
	5 (14)	Lesson 2 Tokyo's Seven-minute Miracle (14)	<題材>新幹線の車両清掃の仕事を通じ、誇りを持って働くことの大切さを知る。 <文法>強調のための倒置、形式目的語のitについて理解する。	First Reading (1) 各パートの理解とリテリィング (8) Post-Reading (2) Output (2) Comprehension 及び Exercises (1)	
	6 (14)	中間考査 (1) 自己評価 (1) Lesson 3 Saint Bernard Dogs (12)	<題材>ジャックの研究を通じ、世界を変えるために何ができるか考える。 <文法>動名詞の意味上の主語、疑問詞+do you think +(S') +V?、未来進行形について理解する。	中間考査 (1) 自己評価 (1) First Reading (1) 各パートの理解とリテリィング (6) Post-Reading (2) Output (2) Comprehension 及び Exercises (1)	
	7 (7)	授業内多読(1)	<題材>シャ넬の生涯を通じて、自分の生き方を考える。	授業内多読(1) First Reading (1) 各パートの理解とリテリィング (6)	
	8 (6)	Lesson 4 Chanel's Style (12)	<文法>S+V+分詞/S+V+O+分詞、付帯状況を表すwith+O+Cについて理解する。	Post-Reading (2) Output (2) Comprehension 及び Exercises (1)	
後期	9 (14)	期末考査 (1) 自己評価 (1) Lesson 5 Science of Love (12)	<題材>恋の科学を知り、科学に関する関心を高める。 <文法>同格のthat節、疑問詞+do you think(+S)+Vについて理解する。	期末考査 (1) 自己評価 (1) First Reading (1) 各パートの理解とリテリィング (6) Post-Reading (2) Output (2) Comprehension 及び Exercises (1)	
	10 (12)	Lesson 6 Gaudi and His Messenger (12)	<題材>ガウディーとサグラダ・ファミリア、外尾について理解する。 <文法>独立分詞構文、関係副詞の非限定用法について理解する。	First Reading (1) 各パートの理解とリテリィング (6) Post-Reading (2) Output (2) Comprehension 及び Exercises (1)	
	11 (14)	授業内多読(1) Lesson 7 Letters from a Battlefield (13)	<題材>硫黄島の戦いや兵士が家族に宛てた手紙について理解する。。 <文法>讓歩を表す複合関係詞、動名詞の意味上の主語について理解する。	授業内多読(1) First Reading (1) 各パートの理解とリテリィング (7) Post-Reading (2) Output (2) Comprehension 及び Exercises (1)	
	12 (12)	中間考査 (1) 自己評価 (1) GTEC (3) Lesson 8 Working against the Clock (12)	Lesson 8 <題材>江戸の暮らししから環境に優しい暮らしを考える。 <文法>注意すべき関係代名詞の非限定用法、独立分詞構文について理解する。	中間考査 (1) 自己評価 (1) GTEC (3) Lesson 8 First Reading (1) 各パートの理解とリテリィング (6) Post-Reading (2) Output (2) Comprehension 及び Exercises (1)	
	1 (8)	Lesson 9 AI and Our Future (12)	Lesson 9 <題材>AIやディープラーニングについて理解し、人間との共存のあり方を考える	Lesson 9 First Reading (1) 各パートの理解とリテリィング (6) Post-Reading (2) Output (2) Comprehension 及び Exercises (1)	
後期	2 (12)	学年末考査 (1) 自己評価 (1) 授業内多読(1)	<文法>as if [though] +仮定法、助動詞+have+過去分詞について理解する。	Lesson 9 First Reading (1) 各パートの理解とリテリィング (6) Post-Reading (2) Output (2) Comprehension 及び Exercises (1)	
	3 (14)	Lesson 10 Bhutan: A Happy Country (12) 1年のまとめ(2)	<題材>ブータンの暮らししから幸せな国のありからを考える。 <文法>強調構文、副詞節中の<S+be>の省略について理解する。	First Reading (1) 各パートの理解とリテリィング (6) Post-Reading (2) Output (2) Comprehension 及び Exercises (1) 1年のまとめ (2)	

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース		教科担任											
外国語	英語表現Ⅱ (前半)	2	2年次		河原井 規子・塩村 亮・石橋 拓 内村 鶴子・峠 光											
使用教科書	Vision Quest English Expression II Hope (啓林館)				使用副教材	Vision Quest English Expression II Hope ワークブック 総合英語 FACT BOOK これからの英文法 (桐原書店)										
科 目 の 目 標									道徳教育のねらい							
英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。									言語活動を通じ人間との関わりを築き互いの立場や考えを尊重しながら伝え合う力やコミュニケーションを図ろうとする積極的な態度を養う。							
学習活動内容			市函DP(本校で身に付けさせたい10の資質・能力)													
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10				
			基礎力	思考力	主体的学習力	傾聴力	自己理解・自己管理力	他者理解力	計画実行力	発信・表現力	ストレスコントロール力	実践力				
1	Build Up/Practice (文法・『学び合い』)	◎	○	○	○	○	○	○	○							
2	Model Conversation/Visual Image (会話)				○					◎						
3	Expressing (会話・作文)							○		◎						
4	Grammar Focus (文法)	◎														
5	Activity for Communication (会話・作文)						○			◎						
6	Part 2 (Essay Writing Debate Role-play)		○	○						◎						
7	Part 3 (Presentation Discussion Debate)		○	○		○	○	○	○	◎	◎					
19	課題提出	○							○							
20	考查	◎							○	◎						
評価の観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力			外国語理解の能力			言語や文化についての知識・理解								
	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語で伝えている。			英語を聞いたり英文を読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。			英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、背景にある文化などを理解している。								
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。															
	被教者のコミュニケーション活動	課題への取組	定期考査	パフォーマンステスト												
	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	○	○	○	○											
	外国語表現の能力	○	○	○	○											
	外国語理解の能力	○		○												
	言語や文化についての知識・理解			○	○											

英語表現Ⅱ 授業計画

授業計画				実施状況	
月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前 期	4月 (6)	Useful Classroom English(1)			
		Part 1 Lesson1 You have several traditional events.(4)	数量や所要時間を尋ね、答える。/行事の説明に必要な項目を挙げ、英文にまとめる。/例文を元に、英語では主語を明確にした上で文を作ることを学ぶ。	Build-up、Practice(2) Model Conversation+Visual Image(1) Expressing/Performance test(1)	
		Grammar Focus1(1)	名詞と冠詞		
	5月 (6)	Part 2 Lesson 1(1)	パラグラフの構成／列挙・順序		
		Activity for Communication(1)	①Storytelling		
		Lesson2 How did your work experience go?(4)	放課後の行動や特定の感情を持つ時を尋ね、答える。/クラブ活動の経験を振り返ってメモし、英文にまとめる。/動詞を選択し、目的語と補語を適切に用いて様々な文型の文を作る。	Build-up、Practice(2) Model Conversation+Visual Image(1) Expressing/Performance test(1)	
	6月 (8)	前期中間考査(1)			
		自己評価(1)			
		Lesson3 Let me tell you a story.(4)	行動の動機や相手に望む行動について尋ね、答える。/話の流れを考え、最後に明かすオチを過去完了形で表現する。/使役動詞・知覚動詞の使い方、〈動詞十人+to do〉で不定詞の意味上の主語の表し方を学ぶ。	Build-up、Practice(2) Model Conversation+Visual Image(1) Expressing/Performance test(1)	
		Activity for Communication(1)	②Role Play		
	7月 (4)	Grammar Focus2(1)	主語と動詞の呼応・時制の一致		
		Lesson4 I want to work as an air traffic controller.(4)	継続している行動や興味を持った経験を尋ね、答える。/将来就きたい職業を考え、その実現に必要なこととともに英文にまとめる。/日本語を直訳するのではなく、状況に応じて適切な時制や表現を選ぶことを学ぶ。	Build-up、Practice(2) Model Conversation+Visual Image(1) Expressing/Performance test(1)	
		Part 2 Lesson 2(4)	パラグラフを書く②(例示・追加) ③(比較・対照)		
		前期末考査(1)			
		自己評価(1)			
	8月 (7)	Grammar Focus3(1)	受動態		
		Lesson5 I wish I could have such an experience again.(4)	助言を求めたり与えたりする。仮定の状況を話し合う。/100万円があれば自分・家族・友人・他人の人々に対して何をしたいかを列举する。/話し手の気持ちや判断を表す助動詞・仮定法の使い方を学ぶ。	Build-up、Practice(2) Model Conversation+Visual Image(1) Expressing/Performance test(1)	
後 期	10月 (8)	Lesson6 This is a photo taken in Vancouver, Canada.(4)	名所・名産地や職業・仕事内容を尋ね、答える。/写真とその時の思い出を説明し、今の感想を伝える。/前置詞句や不定詞・分詞・関係詞など名詞を修飾する形容詞的用法を学ぶ。	Build-up、Practice(2) Model Conversation+Visual Image(1) Expressing/Performance test(1)	
		Lesson7 Are cell phones an essential part of our lives?(4)	日頃の心がけや気分について尋ね、答える。/フレインストーミングを行い、携帯電話の長所・短所をまとめる。/前置詞句や不定詞・分詞・接続詞が導く節などの副詞的用法を学ぶ。	Build-up、Practice(2) Model Conversation+Visual Image(1) Expressing/Performance test(1)	
	11月 (7)	Grammar Focus4(2)	前置詞		
		Activity for Communication(3)	③Listening for Number ④Writing an Email ⑤Reading Graphs		
		Part 2 Lesson 4(1)	パラグラフを書く④(原因・理由・結果)		
		Part 2 Lesson 5(1)	パラグラフを書く⑤(要点・要約)		
	12月 (6)	後期中間考査(1)			
		自己評価(1)			
		Lesson8 Which do you like better, cats or dogs?(4)	二択で好みを尋ねたり、一番あるものを尋ねたりする。/犬と猫の特徴をまとめ、好きな方を理由とともに英文にまとめる。/原級・比較級・最上級を使った比較表現を学ぶ。	Build-up、Practice(2) Model Conversation+Visual Image(1) Expressing/Performance test(1)	
期	1月 (4)	Grammar Focus5(2)	比較表現		
	2月 (6)	Part 3 前半(6)	presentation discussion	テーマの選定・フレインストーミング・原稿の執筆 原稿の執筆	
		後期期末考査(1)			
	3月 (4)	自己評価(1)			
		Part 3 後半(4)	debate essay writing	発表の準備 発表	

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任												
英語	英語研究A(発展)	2	2年次	塩村亮												
使用教科書				使用副教材	Interactive4skills 1(旺文社) 英語4技能型テストへのアプローチ2(教研出版)											
科目的目標				道徳教育のねらい												
「コミュニケーション英語II」「英語表現II」で十分発展させることのできない領域にも焦点を当て、4技能の総合的な力を高めます。				英語を通じて、人間の関わりを築き、互いの立場や考えを尊重しながら伝え合う力やコミュニケーションを図ろうとする積極的な態度を養う。												
市函DP(本校で身に付けさせたい資質・能力)																
学習活動内容				1 基礎力	2 思考力	3 主体的 学習力	4 傾聴力	5 自己理解・自 己管理力	6 他者 理解力	7 計画 実行力	8 発信・ 表現力	9 ストレス コントロール	10 実践力			
1 Listening				◎		○	○									
2 Reading				◎	○	○										
3 Writing				◎	○	○		○			◎					
4 Speaking				◎	○	○	○	○	○		◎		○			
5 パフォーマンステスト				○						○	○		◎			
6 テスト(定期考查は実施せず、授業内で行います)				○						○		○				
評価の観点	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度		外国語表現の能力			外国語理解の能力			言語や文化についての 知識・理解							
	積極的に授業に参加し、コミュニケーションを図ろうとしているか。		習得した語彙・表現を用いて自己を表現できるか。			英語を聞いたり英文を読んだりして、情報や考え方を的確に理解しているか。未習の英文や英語の音声による情報を理解・整理できるか。			日本語と英語の違いを理解し、基礎的な知識を身につけている。							
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。															
			授業での取り組み	パフォーマンステスト		テスト										
	コミュニケーションへの関心・意欲・態度		◎	◎		○										
	英語表現の能力		◎	◎		○										
	英語理解の能力		◎	○		○										
言語や文化についての知識・理解		○														

英語研究A（発展） 授業計画

授業計画				実施状況	
月 (時数)	単元・査定等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前期	4 (5)	Interactive4skills 1 Lesson1 (4)	日常会話に関する4技能を身につける	対話を聞き、選択肢を素早く読み取る。(2) アンケートや自分についての質問に答える。(2)	
	5 (5)	Lesson2 (4)	人物を描写する4技能を身につける	イラストの描写を聞き取ったり、長文を読んで設問に答える。(2)メモやお知らせを書いたり、イラストの人物を描写する。(2)	
	6 (7)	Lesson3 (4)	Eメール・電話に関しての4技能を身につける	Eメールや電話の対話を聞いたり読んだりして設問に答える。(2)Eメールを書いたり、留守番メッセージを伝える。(2)	
	7 (5)	Lesson4 (4)	掲示・広告・アナウンスに関する4技能を身につける	アナウンスを聞き取ったり、掲示・広告を読み取る。(2)Eメールを書いたり、表の内容に関する質問に答える。(2)	
	8 (4)	Lesson5 (4)	登場人物の動作や心理を描写するための4技能を身につける	短い英文を聞き取ったり、物語を読み取る。(2)写真を描写したり、イラストの状況について表現する。(2)	
	9 (8)	Lesson6 (4)	社会問題に関する4技能を身につける	対話や短い英文を聞き取ったり、長めの英文を読み取り要約文を選ぶ。(2)社会問題に関する自分の意見を英語で書いたり、話したりする。(2)	
	10 (8)	Lesson7 (4)	環境・自然・生物の話題に関する4技能を身につける	対話の応答文を聞き取ったり、環境についての長文を読み取る。(2)環境問題のテーマで自分の意見を英語で書く。(2)	
	11 (8)	Lesson8 (4)	教育分野の話題に関する4技能を身につける	イラストの描写や短い英文を聞き取る。(2)図表を読み取ったり、4コマイラストのストーリーを説明する。(2)	
	12 (6)	Lesson9 (5)	科学、テクノロジー分野の話題に関する4技能を身につける	対話や短い英文を聞き取ったり、長めの英文を読み取り要約文を選ぶ。(2)テクノロジーに関する自分の意見を英語で書いたり、話したりする。(3)	
後期	10 (8)	Lesson10 (4)	歴史、文化の話題に関する4技能を身につける	対話や短い英文を聞き取ったり、長めの英文を読み取る。(2)文化に関する自分の意見を英語で書いたり、話したりする。(2)	
	11 (8)	4技能型テストへのアプローチ 2 Lesson1 (4)	状況・位置関係や外見・動作の表現を理解する 疑問文に適切な形で応答する力を身につける	短い対話文や相手の発問を聞き取り、適切な選択肢を選んだり事実について表現する。(4)	
	11 (8)	Lesson2 (4)	状況・位置関係や外見・動作の表現を理解する 表などの情報を読み取る力を身につける	写真やイラストを描写する英文を聞くこと・書くことを通して、情報をすばやく把握したり表現したりする。(2) 数字や数量・推移の表現を覚え、必要な情報をすばやく検索する。(2)	
	11 (8)	Lesson3 (4)	トピック、要旨を読み取る力・意味のまとまりを捉える力を身につける	論理展開に合う「つなぎ言葉」を覚え、全体の話の流れを予測しながら読む。(4)	
	12 (6)	Lesson4 (4)	与えられた情報や条件に合った英文を作成する力・図表やグラフの情報・数値を正しく読み取る力を身につける	何を表す図表なのかを推測しながら英文を読んだり聞いたりする。(2)イラストや写真の内容を読み取り、状況や人物の心理についていろいろな表現を使って説明する。(2)	
	12 (6)	Lesson5 (4)	図表と文章を比べ、必要な情報をすばやく検索する力・別の表現に書き換える力を身につける	表などの情報を読み取り、断片的な英語から正しい英文を作る。(2)別の表現に書き換えながら、長い文章をまとめる。(2)	
	1 (4)	Lesson6 (5)	文章の中から必要な情報を検索する力、適切な理由や補足を加えて意見を書く力を身につける	注意書きやメールの文章を聞いたり読んだりして、質問に対する適切な選択肢を選ぶ。(2)意見陳述の型を覚え、一貫した立場で自分の意見を書く。(3)	
2 (6)	Lesson7 (4)	文章のトピック、各段落の要旨を読み取る力、自分の意見をまとめ、表現する力を身につける	まとまった文章を聞いたり読んだりして、タイトルや設問から英文のトピックや流れ・各段落の内容を予測しながら把握する。(2)問われていることを聞き取り、自分の意見を表現する。(2)		

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任																					
英語	英語研究A(標準)	2	2年次	内村歓子																					
使用教科書				使用副教材	Interactive4skills 1(旺文社) 英語4技能型テストへのアプローチ1(教研出版)																				
科 目 の 目 標				道徳教育のねらい																					
「コミュニケーション英語II」「英語表現II」で十分発展させることのできない領域にも焦点を当て、4技能の総合的な力を高めます。				英語を通じて、人間の関わりを築き、互いの立場や考えを尊重しながら伝え合う力やコミュニケーションを図ろうとする積極的な態度を養う。																					
市函D P(本校で身に付けさせたい資質・能力)																									
学習活動内容				1 基礎力	2 思考力	3 主体的 学習力	4 傾聴力	5 自己理解・自 己管理力	6 他者 理解力	7 計画 実行力	8 発信・ 表現力	9 ストレス コントロール	10 実践力												
1 Listening				◎		○	○																		
2 Reading				◎	○	○																			
3 Writing				◎	○	○		○			◎														
4 speaking				◎	○	○	○	○	○		◎		○												
5 パフォーマンステスト				○						○	○		◎												
6 テスト(定期考查は実施せず授業の中で行います)				○						○		○													
評価の観点	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力			外国語理解の能力			言語や文化についての 知識・理解																	
	積極的に授業に参加し、コミュニケーションを図ろうとしているか。	習得した語彙・表現を用いて自己を表現できるか。			英語を聞いたり英文を読んだりして、情報や考え方を的確に理解しているか。未習の英文や英語の音声による情報を理解・整理できるか。			日本語と英語の違いを理解し、基礎的な知識を身につけている。																	
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。																								
		授業での取り組み	パフォーマンステスト		テスト																				
	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	◎	◎		○																				
	英語表現の能力	◎	◎		○																				
	英語理解の能力	◎	○		○																				
	言語や文化についての知識・理解	○																							

英語研究A（標準） 授業計画

授業計画				実施状況	
月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前期	4 (5)	Interactive4skills 1			
		Lesson1 (4)	日常会話に関する4技能を身につける	対話の応答文を聞き取ったり、読み取ることができる。(2) アンケートに答えたり、自分についての質問に答える。(2)	
	5 (5)	Lesson2 (4)	人物を描写する4技能を身につける	イラストを描写する文を聞き取ったり、少し長めの長文を読む。(2) メモやお知らせを書いたり、イラストの人物を描写する。(2)	
		Lesson3 (4)	Eメール・電話に関しての4技能を身につける	Eメールや電話の対話を聞き取ったり、読み取る。(2) Eメールを書いたり、留守番メッセージを伝える。(2)	
	6 (7)	Lesson4 (4)	掲示・広告・アナウンスに関する4技能を身につける	アナウンスを聞き取ったり、掲示・広告を読み取る。(2) Eメールを書いたり、表の内容に関する質問に答える。(2)	
		Lesson5 (4)	物語に関する4技能を身につける	短い英文を聞き取ったり、物語を読み取る。(2) 写真を描写したり、イラストの人物の状況について話す。(2)	
	7 (5)	Lesson6 (4)	社会問題に関する4技能を身につける	対話や短い英文を聞き取ったり、長めの英文読み取り要約文を達ぶ。(2) 社会問題に関する自分の意見を英語で書いたり、話したりする。(2)	
		Lesson7 (4)	環境・自然・生物の話題に関する4技能を身につける	対話の応答文を聞き取ったり、環境についての長文を読み取る。(2) 環境問題のテーマで自分の意見を英語で書く。(2)	
	8 (4)	Lesson8 (4)	教育分野の話題に関する4技能を身につける	イラストの描写や短い英文を聞き取る。(2) 図表を読み取ったり、4コマイラストのストーリーを説明する。(2)	
		Lesson9 (5)	科学、テクノロジー分野の話題に関する4技能を身につける	対話や短い英文を聞き取ったり、長めの英文読み取り要約文を達ぶ。(2) テクノロジーに関する自分の意見を英語で書いたり、話したりする。(3)	
後期	10 (8)	Lesson10 (4)	歴史、文化の話題に関する4技能を身につける	対話や短い英文を聞き取ったり、長めの英文読みとる。(2) 文化に関する自分の意見を英語で書いたり、話したりする。(2)	
		4技能型テストへのアプローチ Lesson1 (4)	前期で身につけた4技能をさらに高めていく	イラストの描写や短い英文を聞きとったり、広告などを読み取ったりする。(2) 写真の描写を表現したり、相手の質問に適切に応答する。(2)	
	11 (8)	Lesson2 (4)	前期で身につけた4技能をさらに高めていく	イラストの描写や短い英文を聞きとったり、少し長めの英文や広告を読み取る。(2) 自分について英文で書いたり話したりする。(2)	
		Lesson3 (4)	前期で身につけた4技能をさらに高めていく	長めの文章を聞き取ったり、読み取る。またメールなど必要な情報を素早く読み取る。(2) E-mailを書いたり、英語でインタビューをする。(2)	
	12 (6)	Lesson4 (4)	前期で身につけた4技能をさらに高めていく	イラストの描写や短い英文を聞きとったり、複数のメールから必要な情報を素早く読み取る。(2) 与えられた条件に合ったメールの返信を作成したり、自分の意見を表現する。(2)	
		Lesson5 (4)	前期で身につけた4技能をさらに高めていく	対話文や長めの英文を聞きとったり、図表やグラフを正確に読み取る。(2) 英文を要約したり、疑問文で問われていることを聞き取り、適切に応答する。(2)	
	1 (4)	Lesson6 (5)	前期で身につけた4技能をさらに高めていく	対話文や長めの英文を聞きとったり、テキストメッセージや長文を読み取る。(2) 与えられた課題に対して一貫した立場で意見を書く。イラストの描写を正しく表現することができる。(3)	
		Lesson7 (4)	前期で身につけた4技能をさらに高めていく	対話文やグラフに関する英文を聞きとったり、長文やメールを正確に読み取る。(2) 与えられた課題に対して一貫した立場で意見を書く。イラストの描写を正しく表現することができる。(2)	

2021年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース		教科担任							
外国語	実用英語	2	2		石橋 拓							
使用教科書	なし		使用副教材		教師作成教材 Talk a lot, Let's Chat, Screenplay							
科目の目標						道徳教育のねらい						
ALTとの授業、多読、発表等を通して、実践的コミュニケーション能力を育成する。						外国語教育を通して他者の意見を尊重しながら伝え合う姿勢を身につけさせると同時に、自國および他国の言語・文化を理解し、国際人としての道徳観を育成する。						
学習活動内容			市函D P (本校で身に付けさせたい10の資質・能力)									
			1 基礎力	2 思考力	3 主体的 学習力	4 傾聴力	5 自己理解・自 己管理力	6 他者 理解力	7 計画 実行力	8 発信・ 表現力	9 ストレス コントロール力	10 実践力
1 多読		○	○	◎								
2 発表		○	◎	○	○			○	◎			
3 ジャーナルライティング		○	○	○					◎			
4 映画のセリフ音読、鑑賞		○	○	○	○		○					
5 授業での英語の使用		○		◎			○		◎			
評価の観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度		外国語表現の能力			外国語理解の能力		言語や文化についての知識・理解				
	積極的に授業に参加し、コミュニケーションを図ろうとしているか。		既習の語彙・文法を用いて、自分の意見を英語で表現できるか。			既習の文法・語彙・表現を活用し、未習の英文や英語の音声による情報を理解・整理できるか。		日本語(文化)と外国語(文化)への理解を深められたか。				
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。											
	多読	○	プレゼンテーション	○	ジャーナル	○	映画	○	授業での英語の使用	○		
	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	○										
	外国語表現の能力	○	○		○							
	外国語理解の能力	○	○		○		○					
	言語や文化についての知識・理解				○		○					

実用英語 授業計画

授業計画				実施状況	
月 (時数)	単元・考查等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前期	4月 (5) オリエンテーション The Question Game	お互いをより良く知る 評価方法について知る 英語を話す(毎時) 英語を書く(週に一回)	Q&Aアクティビティ ALTによるアクティビティ(毎時) ジャーナルライティング、発表		
	5月 (7) Spirited Away (movie)	映画の台本を読み、鑑賞することでセリフの細部を理解する。 集中リスニング 話し言葉への理解を深める	台本(スクリプト)の音読 映画の鑑賞 シーンに関するQ&A		
	6月 (8) 7月 (3)	英語を話す(毎時) 英語を書く(週に一回)	Q&Aアクティビティ ALTによるアクティビティ(毎時) ジャーナルライティング、発表(1週間に1回)		
	8月 (3) The Karate Kid (movie)	映画の台本を読み、鑑賞することでセリフの細部を理解する。 集中リスニング 話し言葉への理解を深める	台本(スクリプト)の音読 映画の鑑賞 シーンに関するQ&A		
	9月 (5)	英語を話す(毎時) 英語を書く(週に一回)	Q&Aアクティビティ ALTによるアクティビティ(毎時) ジャーナルライティング、発表(1週間に1回)		
	10月 (6)				
後期	11月 (8) The Sound of Music (movie)	映画の台本を読み、鑑賞することでセリフの細部を理解する。 集中リスニング 話し言葉への理解を深める 英語を話す(毎時) 英語を書く(週に一回)	台本(スクリプト)の音読 映画の鑑賞 シーンに関するQ&A Q&Aアクティビティ ALTによるアクティビティ(毎時) ジャーナルライティング、発表(1週間に1回)		
	12月 (3)				
	1月 (5)				
	2月 (6)				
	3月 (4)	多読(年間を通じての宿題)	読んだもの(英語であれば何を読んでもOK)の時間を記録。読んだ時間に応じて読書点を与える。		

2021年度 市立函館高等学校 シラバス (函館学)

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任							
総合	函館学	0~2	全年次・選択	探究部担当教員・外部講師							
使用教科書			使用副教材								
科目の目標				道徳教育のねらい							
国際性と進取の精神を持つ郷土函館・道南圏の歴史・文化・産業・自然・人物・地域課題等について学ぶことで、豊かな教養を身に付けるとともに、社会における自己の役割を再認識し、地域の振興に向けて、自ら課題を見つけ、よりよく問題を解決する資質や態度を育てる。				国際性と進取の精神を持つ郷土函館・道南圏の歴史・文化・産業・自然・人物・地域課題等について学ぶことで、郷土を愛し、郷土の振興のために尽力する態度を養う。							
学習活動内容		市函DP(本校で身に付けさせたい10の資質・能力)									
		1 基礎力	2 思考力	3 主体的 学習力	4 傾聴力	5 自己理解・ 自己管理力	6 他者 理解力	7 計画 実行力	8 発信・ 表現力	9 ストレス コントロール力	10 実践力
1 外部公開講座受講		◎	◎	◎	◎				○		◎
2 はこだて検定		◎	◎	◎				○			
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
評価の観点	関心・意欲・態度		思考・判断		技能・表現		知識・理解				
	郷土・函館・道南圏の歴史・文化・産業・自然・人物・地域課題等について主体的に学んでいる。		地域課題に係わる活動に関心を持ち、公開講座やボランティア活動などへの参加を通じて、よりよく解決する資質を身につけていく。		地域課題の解決に向けた活動などにより、自分の学びを他者にわかりやすく伝えることができる。		地域と自分との関わりの中、課題解決に向けた活動などにより、自己の在り方生き方を考えることができる。				
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。				講座や活動への取り組み	地域課題への取り組み	報告レポート				
	関心・意欲・態度		◎	◎	◎						
	思考・判断		◎		◎						
	技能・表現				◎						
	知識・理解			◎	◎						

函館学（選択） 2019年度 開講講座等実績（2020年度は「はこだて検定」のみ）

授業計画				実施状況	
月 (時数)	開講講座	学習のねらい	学習内容	単元 実施 時数	実施反省
前	4 第1回函館てらこや 函館野外劇（リハーサル）	郷土函館・道南圏の「歴史」、「文化」、「産業」、「自然」、「人物」、「地域課題」等について総合的に学ぶ。	てらこや 地域の子ども達に学び・遊びの場を提供し、保護者・大人のボランティア・学生ボランティアが交流し地域を盛り上げていこうという活動を通じて、コミュニケーションのあり方や地域全体で行う子育て・教育のあり方について考える。		
	5 第2回函館てらこや 「はこだて海の教室～ロゴ制作講座」 函館野外劇（リハーサル）				
	6 第3回函館てらこや 第1回 CCH合同公開講座 『函館学2019』 函館野外劇（リハーサル） 函館書藝社展全員展 北海道書道展函館展		第1回 CCH合同公開講座 「ロシアにおける外国語教育の歴史と現在」		
	7 第4回函館てらこや 第2回 CCH合同公開講座 『函館学2019』 函館野外劇		第2回 CCH合同公開講座 「高付加価値新素材に生まれ変わるイカ墨」		
	8 CCH加盟校主催『函館学』講座 第5回函館てらこや 函館野外劇 函玄社書道展		CCH加盟校主催『函館学』講座 「水中カメラを使った魚の観察」 「モジュールな生き物、海藻の世界を探検する」		
	9 CCH加盟校主催『函館学』講座 第6回函館てらこや		CCH加盟校主催『函館学』講座 「ウニは時々悪いことをするけど、基本的にいい奴」		
	10 第7回函館てらこや 第3回 CCH合同公開講座 『函館学2019』 函館書藝社展会友・公募展		第3回 CCH合同公開講座 「化石から探る道南の森林の歴史」		
	11 アカデミックリンク2019 CCH合同研究発表会 はこだて検定 第8回函館てらこや 金子鷗亭 川端文学縁文集展				
	12 地域創生政策アイデアコンテスト 第9回函館てらこや				
	1 第10回函館てらこや				
後	2 第11回函館てらこや 高文連高校生の書展 アカデミックリンク2019 CCH合同研究発表会 ハコダテ シェスタ編				
	3 第12回函館てらこや				

函館学（選択）は『函館学ニュース』で隨時案内するため、年度により開講講座が異なることから、前年度の実施実績とする。

2021年度 市立函館高等学校 シラバス (総合的な探究の時間)

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任							
総合	総合的な探究の時間	1	2年次	2年次教員							
使用教科書			使用副教材								
科目の目標					道徳教育のねらい						
横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身につけ、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようになります。					自ら課題を見付け、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方や考え方を身につけ、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を身に付けることで、よりよい道徳的な判断力を養う。						
市函D P (本校で身に付けさせたい10の資質・能力)											
学習活動内容		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		基礎力	思考力	主体的 学習力	傾聴力	自己理解 ・自己管理力	他者 理解力	計画 実行力	発信・ 表現力	ストレス コントロール力	実践力
1	プレゼンテーション	◎	◎	◎	◎	○	○	○	◎		
2	課題研究(前半)	◎	◎	◎	○			○	○	○	
3	講演会	○	◎	○	◎						
4	出前講義(1・2年次)		◎		◎	◎					
5	課題研究全体会発表会参観				◎		◎				
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断			技能・表現			知識・理解			
	現代社会の課題を多面的に学び、自ら課題を発見し、課題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組むことができる。	自ら見付けた課題について、調査研究し、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を身に付けている。			課題解決に向けて、情報を調べ活用する能力や他者にわかりやすく伝える能力を身に付けている。			社会と自分との関わりの中、課題解決に向けた取り組みや探究活動により、自己の在り方生きを考えることができる。			
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。										
	授業への取り組み		課題への取り組み		グループワーク		自己評価・相互評価		発表内容		作品(レポート等)
	◎	◎	○	○							
	◎		○	○			○		◎		
	◎		○		○				◎		◎

総合的な探究の時間 授業計画

授業計画				実施状況	
月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前期	4 プレゼンテーション (1.3)	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの考えを主体的かつ論理的に整理し、説得力をもって発表することを学ぶ。 ・問題解決や探求活動に主体的かつ創造的に取り組む態度を育て、自己の生きる方向性を考えることができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション (2) ・グループプレゼン (2) ・いちはこプレゼンテーション (ブレンディング・理論構築) (2) ・いちはこプレゼンテーション (台本作成・リハーサル) (3) ・クラス発表会 (2) ・年次発表会 (2) 		
	5 講演会 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の第一線で活躍する方の講演を聞くことで、生徒の視野を広げ、多様な生き方を考えさせる。 	・講演会 (3)		
	6 出前講義 (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・大学の先生や職業人による講義を受けることで、学問や学科についてのイメージを具体化し、科目選択や文理選択に具体的な自分の将来像を結びつける。 	・出前講義 (3)		
	9 課題研究全体発表会参観 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・3年次生の発表を見学し、本校の「課題研究」の在り方を理解する。 ・発表内容を聴き、内容を理解する力と自分自身の学びにつなげる力を付ける。 	・課題研究全体発表会参観 (1)		
後期	10				
	11 課題研究 (1.2)	<ul style="list-style-type: none"> ・3つの大きな柱「自己を知る」、「社会・学間を知る」、「表現力を磨く」を立てて取り組んできた総合的な学習の時間の集大成として課題研究に取り組む。 ・自分が学びたいと考える学問や社会において探求したいと考える事柄、就きたい職業の仕事の内容などを、より具体的に調べ考察し、論文に仕上げ、発表する。 ・この活動を通じて、自分の探求していく夢を持ち、進みたい大学・学部や職業をより確信を持って目指す契機とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション (1) ・テーマ探求Ⅰ・Ⅱ (2) ・アウトラインver.0～2作成 (8) ・中間発表会 (1) 		
	12				
	1				
	2				
	3 ポートフォリオ (1)	・総合的な探究の時間の学習内容を振り返り、学習の成果をeポートフォリオに記録する。	・ポートフォリオ (1)		